

業 務 報 告 書

～平成25年度実績～



平成26年10月

島根県浜田保健所

(表紙裏)

沿 革

浜田保健所の沿革

- 昭和19年12月：浜田市大字黒川1401番地に木造二階建（延506.6㎡）の本庁舎が開設された。（管轄：浜田市・那賀郡（人口116,901人）、職員14名）
- 昭和22年：保健所法改正に伴う保健所機構の整備により職員が6名増員となる。
- 昭和23年 4月：細菌検査浜田支所を統合。
- 昭和24年12月：島根県立川下病院を統合。
- 昭和26年 4月：A級保健所となり、8月には庁舎を増築（213.7㎡）、翌年2月には、総務課、保健予防課、衛生課、普及課の4課17係が設けられた。
- 昭和36年 8月：機構改革により、総務課、保健予防課、衛生課の3課6係となる。
- 昭和41年 3月：浜田合同庁舎が竣工。1階、2階が保健所となる。
- 昭和53年 4月：機構改革により、II型保健所となり、総務課、保健予防課、環境衛生課、検査室の3課1室5係となる。
- 昭和58年 8月：浜田合同庁舎隣接地で建設を進めていた新庁舎が竣工した。

浜田健康福祉センターの発足

- 平成 6年 4月：住民に対して保健・医療・福祉の一体的サービスを図る観点から、那賀福祉事務所と浜田保健所が統合して、浜田健康福祉センターが発足した。
- 平成 8年 6月：島根県大気環境中央監視局が設置され、運用を開始した。
- 平成10年 4月：地域保健法の施行及び介護保険法の導入を視野に入れ、総務企画部、保健福祉部、環境衛生部の3部体制となる。
- 平成11年 4月：保健福祉部の再編成により、保健福祉課に係制を導入して本格稼働となる。
- 平成16年 4月：フラット化、グループ化により、課が廃止され、グループ体制になる。

地方機関の再編

- 平成17年 4月：機構改革により、浜田健康福祉センターが廃止され、浜田保健所と西部福祉事務所に再編される。浜田保健所は、総務保健部と環境衛生部の2部7グループ体制となる。検査グループは、県西部3保健所（浜田、県央及び益田）管内の感染症・食品衛生・環境衛生及び環境保全対策に係る検査の担当となる。
- 平成18年 4月：機構改革により、2部、6グループ・1担当体制となる。
- 平成25年 4月：組織改正により、2部、6課・1担当体制となる。

目 次

1 管内の概況	1
2 組織及び業務	2
総務担当	4
健康増進課	
1 健康長寿しまねの推進	5
2 生活習慣病予防対策	8
3 働き盛り世代の健康づくりの推進	11
4 母子保健対策	12
5 歯科保健対策	19
6 栄養改善対策	21
7 地域保健体制の整備	22
8 精神保健福祉対策	23
医事・難病支援課	
1 医療対策	29
2 難病対策	30
3 結核対策	32
4 エイズ対策	33
5 原爆被爆者対策	34
6 緩和ケア	34
7 骨髄バンク	34
衛生指導課・食品衛生機動監視課	
1 薬事対策	35
2 薬物乱用防止対策	36
3 献血の推進	36
4 食品衛生対策	36
5 感染症対策	39
6 動物管理対策	40
7 環境衛生対策	41
環境保全課	
1 大気汚染防止対策	43
2 水質保全対策	45
3 土壌汚染対策	46
4 ダイオキシン類対策	46

5	廃棄物処理対策一般廃棄物関係	47
6	廃棄物処理対策産業廃棄物関係	47
7	廃棄物の不法投棄等対策	48
8	P C B 廃棄物対策	48
9	自動車リサイクル対策	48
10	浄化槽対策	48
11	建築物衛生確保、衛生害虫対策	49
12	公害苦情処理	49
13	建築物の衛生確保対策	50

検査課

1	感染症に関する検査	51
2	食品衛生関係等の検査	51
3	環境衛生関係検査	53

資料編

	浜田圏域の高齢化率と推計人口	55
	浜田圏域の人口動態	56

1 管内の概況

(1) 市町村合併

平成の大合併の進展に伴い、当管内でも浜田市と那賀郡の1市4町村、江津市と邑智郡桜江町の枠組みで合併に向けての協議が進められた。江津市と桜江町は、平成16年10月1日に合併を行い、新「江津市」面積268.51km²、人口27,821人（平成17年10月1日国勢調査値）の新市が発足した。また、浜田市と那賀郡4町村は平成17年10月1日に合併し、新「浜田市」面積689.44km²、人口63,128人（平成17年10月1日国勢調査値）の新市が発足した。

(2) 行政区域、地理的条件、交通事情

当所は、島根県西部に位置する浜田市に所在しており、平成24年度末の行政区域としては、浜田市、江津市の2市を管内としている。

管内の地理的条件は、日本海に面した海岸部を有するものの、山地が海岸線まで迫っており、総じて平野部は狭隘である。面積は957.95km²で、県全体の14.2%を占めているが、大部分が中山間地域に位置する林野となっている。

交通事情は、JR山陰線と国道9号線が海岸線に沿って東西に走り、また、在来の国道186号線が広島方面へ連絡している。さらに、平成3年に全線開通した中国横断自動車道が浜田市と広島市とを1時間半で結び、さらに平成15年には江津道路も開通し京阪神、九州方面との連絡時間も大幅に短縮された。

しかし、地域全体としてはバス路線が主要な公共交通機関であり、過疎地域で運行回数も少ないため、自家用車の使用に頼らざるを得ない状況である。



(3) 人口と高齢化の推移

管内の人口は、平成25年10月1日現在で84,843人(推計人口)で、県全体の12.1%を占めている。国勢調査に基づく管内の人口推移では、昭和30年をピークとしてその後の減少傾向は明らかで、平成7年以降、10万人を割り込んでいる。

また、稼働年齢層の県外転出と出生率の低下に伴って人口の高齢化が進んでおり、平成25年10月1日現在で管内の高齢化率（65歳以上の高齢者が人口に占める割合）は、32.7%、後期高齢者率（75歳以上の高齢者が人口に占める割合）は18.8%となっており、県平均のそれぞれ30.7%、17.6%を大きく上回っている。

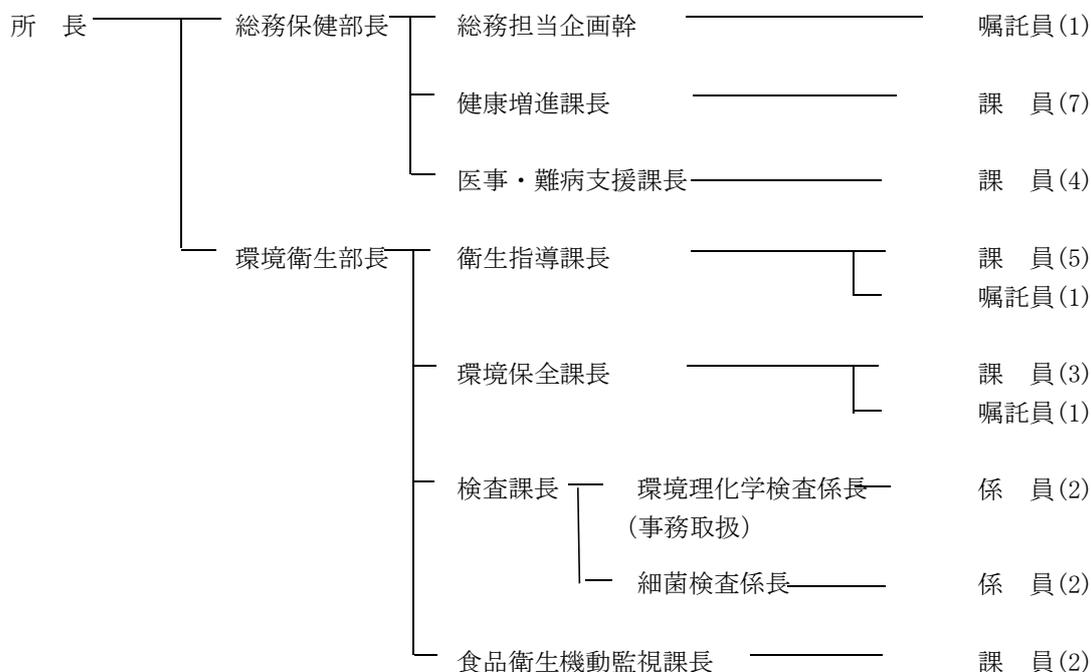
2 組織及び業務

(1) 職種別職員数

(平成26年3月31日現在)

	所長	総務保健部	環境衛生部	合計
行政職		5	8	13
事務		5	3	8
技術			5	5
医療職	1	10	12	23
医師	1			1
保健師		6		6
管理栄養士		1		1
診療放射線技師		1		1
歯科衛生士		1		1
臨床検査技師		1	5	6
獣医師			4	4
薬剤師			3	3
技能労務職				
予防技術員				
嘱託員		1	2	3
事務補助		1		1
狂犬病予防対策業務			1	1
廃棄物監視業務			1	1
合計	1	16	22	39

(2) 組織図



(3) 業務の概要

担当部・課名		業 務 内 容
総務保健部	総務担当	◇人事・服務 ◇庶務事務 ◇福利厚生 ◇統計調査（地域保健・健康増進事業報告、衛生行政報告例、人口動態調査）
	健康増進課	◇健康長寿しまね推進事業 ◇精神保健福祉対策 ◇成人・老人保健対策 ◇健康づくり対策 ◇生活習慣病予防対策 ◇母子・乳幼児保健対策 ◇栄養改善対策 ◇歯科保健対策◇地域保健専門職員研修 ◇学生実習（保健師・栄養士）
	医事・難病支援課	◇医療提供体制の整備 ◇保健医療計画 ◇医師等医療従事者確保◇臓器移植等 ◇特定疾患対策 ◇感染症（結核）対策◇エイズ対策 ◇原爆被爆者対策 ◇難病患者支援対策 ◇ハンセン病対策 ◇緩和ケア対策 ◇医療安全相談
環境衛生部	衛生指導課	◇薬局等医薬品販売業の許可、指導 ◇毒物・劇物・麻薬・覚せい剤 ◇旅館・公衆浴場・理容所・美容所・クリーニング所等生活衛生関係の営業許可 ◇温泉 ◇献血 ◇感染症予防対策 ◇食中毒の防止対策 ◇食品衛生関係の営業許可、指導 ◇水道・飲料水 ◇狂犬病予防 ◇動物愛護
	環境保全課	◇環境保全の普及啓発等 ◇地域環境保全計画の企画推進 ◇大気汚染防止対策 ◇フロン対策 ◇ダイオキシン類対策 ◇土壌汚染対策 ◇浄化槽対策 ◇水質汚濁防止対策 ◇廃棄物の減量化・適正処理対策 ◇建物の衛生確保対策 ◇ネズミ・衛生害虫相談 ◇公害等苦情処理 ◇大気環境常時監視テレメータシステムの管理運営
	検査課	◇公害検査 ◇環境衛生検査 ◇食品等の試験検査 ◇食中毒・感染症検査 ◇臨床検査
	食品衛生機動監視課	◇食品関係施設の広域的監視・指導

《総務担当》

1 総務事務

職員の人事・給与・福利厚生事務及び会計事務を行う。

2 防災及び災害対策関係業務

所内における防災体制の確立や緊急連絡網の整備並びに通信訓練の実施。

3 安全衛生委員会の開催

職員の危険又は健康障害の防止及び健康の保持増進に関する事項を調査審議した。

開 催 日	開 催 場 所
平成25年11月27日	浜田合庁別館 3F 多目的室

4 情報化の推進

(1) 保健所職員研修

情報セキュリティ対策に関する研修を実施した。

(2) ホームページを活用した継続的な情報提供

5 統計調査

○衛生行政報告例（年度報・隔年報）

○地域保健・健康増進事業報告（年度報）

○人口動態調査（毎月）

6 学生実習、講師派遣

(1) 学生実習

○公衆衛生看護学実習等〔担当：健康増進課〕

…島根県立大学短期大学部（4名・5日）

(2) 講師派遣

浜田医療センター附属看護学校、浜田准看護学校

《健康増進課》

1 健康長寿しまねの推進

島根県では国に先立ち、平成11年8月「健康増進計画」（健康長寿しまね）を策定し、健康長寿しまね推進会議を中心に県民運動として健康づくりに取り組んできた。この取り組みの一環として、浜田圏域においても平成12年度に浜田圏域健康長寿しまね推進会議を設置し「浜田圏域健康長寿しまね推進計画」（平成13年度策定）をもとに運動を展開してきた。

中間年となる平成17年度には、中間評価を行い圏域の課題を整理し、活動テーマを「脳卒中死亡率の減少」と「壮年期の自殺予防」として圏域計画の推進を図ってきた。平成19年度の「島根県健康増進計画」（健康長寿しまね）の見直しに伴い、平成20年度には「浜田圏域健康長寿しまね推進計画～目標値改訂版～」を作成し、具体的な目標について再度見直しを行ったとともに、平成22年度までの計画期間をスライドさせ、最終年度を平成24年度とした。

この間、「禁煙推進」「歯と食」「運動・健康づくり」「心の健康づくり」の4つの部会を中心に健康づくりに取り組みを進めてきたが、平成22年度からは「運動」と「心」を統合させ「運動・心の健康づくり」とし、3部会として健康づくり、生きがいづくり、要介護状態の予防を三本柱に「健康長寿しまね」県民運動をより一層推進している。

平成25年3月には「第2次浜田圏域健康長寿しまね推進計画」を策定し、「健康寿命を延ばす」を目標とした活動がスタートした。第2次計画では、1次計画の考え方を継承し、さらに「未来へつながる健康で幸福（しあわせ）な石見のまちづくり」を圏域の基本理念として掲げ、健康づくりのための活動を進めている。

また、平成22年度に統合した「運動・心の健康づくり部会」を25年度より「運動・健康づくり部会」と「心の健康づくり部会」に分割し、4つの部会でテーマに沿った活動を継続している。構成団体数も29団体から37団体に増え、より一層活発な活動を行っている。

(1) 圏域健康長寿しまね推進会議事業の実施状況

平成25年度浜田圏域健康長寿しまね推進事業実績

区分	事業名	事業内容
① 圏域 会議 の 運 営	圏域健康長寿しまね推進会議の運営	<p>1. 圏域健康長寿しまね推進会議(構成団体数 37)</p> <p>(1) 総会(年2回)</p> <p>①8月1日 役員改選及び組織改編、各構成団体からの前年度活動報告、全県会議報告、前年度事業報告及び今年度事業計画了承</p> <p>②12月12日 健康づくりグループ及び7024よい歯のコンクール合同表彰式、わが家の一流シェフinしまね料理コンクール圏域代表作品の披露、各部会の事業報告(中間報告)</p> <p>(2) 部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禁煙推進部会 (①8月1日 ②3月13日) ・歯と食の部会 (①8月1日 ②3月27日) ・運動・健康づくり部会 (①8月1日 ②3月14日) ・心の健康づくり部会 (①8月1日 ②11月14日 ③3月11日) <p>2. 健康づくりグループ表彰 圏域表彰:4グループ 対象:健康づくりに取り組んでいる地域または職場内のグループを表彰する。 表彰式:12月12日開催 (県健康づくりグループの伝達表彰及び7024よい歯のコンクールの合同表彰式、料理コンクール圏域代表作品の披露)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動交流の場として、各受賞者及び各受賞グループが日々の活動を発表 <p>3. 情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田保健所ホームページでの健康情報等発信 ・まめなたよりの発行(年2回) ・健康なまちづくり推進フォーラム及び各種イベントの場において、啓発活動

区分	事業名	事業内容
② 圏域計画推進事業	1. 禁煙推進部会	<p>1 たばこに関する正しい知識の普及啓発</p> <p>(1) 街頭キャンペーン(6月4日) 浜田商業高校、石見智翠館高校におけるチラシとグッズ配布</p> <p>(2) パネル展示(5月30日～6月9日) 浜田医療センター、済生会江津総合病院、島根県立大学浜田キャンパスにおけるたばこに関する展示</p> <p>(3) 来庁者、職員への啓発(5月30日～6月9日) 浜田合庁と浜田保健所におけるポスターの掲示と幟の設置</p> <p>(4) 関係機関、団体への周知 禁煙治療実施医療機関、がん検診啓発協力事業所、浜田圏域健康長寿しまね推進会議構成団体へのチラシの配布</p> <p>(5) 事業所への周知 メンタルヘルス出張講座実施時における禁煙啓発パンフレットの配布</p> <p>2 未成年者の喫煙防止対策の推進 小中学校における防煙・禁煙教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田市立三階小学校(6年) ・浜田市立弥栄小学校(6年、保護者) ・江津市立江津東小学校(6年) ・江津市立桜江小学校(6年) ・江津市立郷田小学校(6年、保護者) ・江津市立渡津小学校(6年) ・江津市立江津中学校(1年) <p>3 喫煙者の禁煙支援対策の推進 禁煙治療実施医療機関情報のホームページ掲載</p> <p>4 受動喫煙防止対策の推進</p> <p>(1) たばこの煙のない飲食店の登録・拡大 新規4店舗登録 計47店舗</p> <p>(2) たばこの煙のない理美容店の登録 新規登録なし 計26店舗</p> <p>(3) 上記(1)(2)登録店のホームページ掲載(トップページへ移動)</p> <p>5 たばこ対策の取組に関するアンケート実施 事業所を対象として対策取組状況に関するアンケートを実施</p>
	2. 歯と食の部会	<p>1 7024よい歯のコンクールの開催 ※歯科医師会浜田江津支部主催事業の共催 応募期間:9月1日～10月20日 応募者:37名 最優秀賞1名、優秀賞5名</p> <p>2 食育月間啓発の街頭キャンペーン活動 6月19日(水)ゆめタウン浜田、江津グリーンモール チラシ入りティッシュの配布・アンケート</p> <p>3 「わが家の一流シェフin島根」料理コンクール一次審査実施 圏域からの応募料理一次審査実施 審査会:9月20日(事前に部会員全員による書類審査実施) 応募者:119名 圏域代表料理:旬野菜のオイスターソース炒め 圏域推進会議特別賞:さけのホイル焼き</p> <p>4 歯と口の健康週間、いい歯の日の普及啓発 浜田合同庁舎でのパネル展示、浜田市健康福祉フェスティバルに併せアンケート実施</p> <p>5 健康づくり応援店の拡大 外食を利用する人の健康管理支援によるメニュー栄養成分表示と栄養情報提供 新規登録店舗数 0店舗 総店舗数50店舗(平成26年3月現在)</p> <p>6 「食に関するキャッチフレーズ」の普及、啓発 ・「野菜たっぷり・塩ちよっぴり」を新たなキャッチフレーズに設定</p>

区分	事業名	事業内容
② 圏域計画推進事業	3. 運動・健康づくり部会	<p>1 職場の健康づくり講演会及び優良事業所表彰の開催 ※内容については「地域・職域連携健康づくり推進協議会事業」に記載</p> <p>2 職場の健康づくり活動優良事業所表彰選考会 審査会:10月21日 応募事業所:8事業所 会長賞; 従業員50人未満:株式会社石田弥太郎商店 奨励賞 従業員50人未満:朝日鉄工株式会社 江津出張所 特定非営利活動法人 さくらんぼのお家 従業員50人以上:株式会社 サンクラフト 特別賞 従業員50人以上:独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター</p> <p>3 普及啓発活動 (1)浜田版介護予防体操「元気アップ!まめなくん体操」の普及、啓発 日時及び場所:12月12日 浜田合同庁舎多目的室 内容及び参加者:まめなくん体操の実技指導 50名 圏域健康長寿しまね推進会議第2回総会にあわせ、日本3B体操協会島根県支部の指導により、「元気アップ!まめなくん体操」を実施</p>
	4. 心の健康づくり部会	<p>1 普及啓発活動～心の健康づくり応援隊～ (1)心の健康づくりに関する部会内での学習会の開催 日時:11月14日(木)14:00～15:30、参加者:11名(部会員9名、事務局2名) 講師:島根県精神保健福祉士会 山本直紀 精神保健福祉士 講演:「心の病気の理解と対応～支援者にできること～」 (2)部会員による心の健康づくりに関する出前講座の周知啓発 ＜出前講座浜田保健所実施分＞ 内容:「職場における心の健康づくり」 ・9月20日 ケーピー株式会社 職員13名 ・9月26日 極東興和株式会社 職員60名 ・10月4日 高砂ケアセンター 職員20名 ・12月6日,13日 特別養護老人ホームあさひ園 職員計27名 ・3月20日 浜田市社会福祉協議会 職員15名 (3)その他啓発(ケーブルテレビ、まめなたより、他機関広報誌等) ・3月の「自死対策強化月間」にあわせたケーブルテレビによる啓発番組の撮影 3月14日18時～石見ケーブルテレビにて放送(計6回) (4)心の健康に関する啓発グッズの作成、活用 ・啓発ポケットティッシュを2000部作成。</p> <p>2 世界自殺予防デー街頭キャンペーン(がん征圧月間街頭キャンペーンと同時開催) 日時:9月10日(火) 場所:①江津グリーンモール 10:30～11:10 ②ゆめタウン浜田 16:00～17:00 参加者:①29名(関係者25名+事務局4名)、②36名(関係者31名+事務局5名) 内容:啓発用チラシ・グッズを計1000部配布、幟の設置、店内啓発放送 協力機関:浜田圏域健康長寿しまね推進会議、浜田圏域自死防止対策連絡会、心の健康ボランティアのぞみの会浜田圏域地域・職域連携推進協議会、がん検診啓発事業所、がん検診啓発サポーター等</p>

2 生活習慣病予防対策

浜田圏域は平均寿命及び平均自立期間が県下7圏域の中で最も低く、その延伸が最重要課題となっている。その要因の1つに県下で最も脳血管疾患死亡が多いことがあげられる。また、脳卒中がきっかけで認知障害や身体障害等の脳卒中後遺症者が増えている。脳卒中発症者とその家族に対し、急性期から維持期まで一貫した医療やリハビリ等が提供されるよう「脳卒中地域連携クリティカルパス」のスムーズな運用に向け取り組んでいる。

島根県保健統計によると、近年の浜田圏域におけるがんによる死亡は1年間に約350人で推移しており、死亡原因の第1位である。大腸がん・乳がん・子宮がんについては、年齢調整罹患率は県平均より低い、年齢調整死亡率はやや高くなっている。

糖尿病対策については、糖尿病対策推進会議において平成25年度 浜田圏域「糖尿病管理のしおり」を作成し、関係機関との連携を図っている。

(1) 脳卒中予防対策

島根県脳卒中等情報システム及び、平成17年から開始している「脳卒中発症者状況調査」から得られたデータを把握・分析し、脳卒中発症予防、再発予防、重症化予防の取り組みを進めてきた。平成20年度には、急性期から回復期のクリティカルパスを4病院(浜田医療センター、済生会江津総合病院、益田赤十字病院、益田医師会病院)を中心に検討・作成し、21年度に運用を開始した。その運用と共に、急性期病院が提供する退院連絡票を基に、データの評価分析や管内両市での訪問に活かしている。

名称	開催日	参加者	内 容
脳卒中対策担当者連絡会	平成26年2月14日	浜田市、江津市、保健所等 13名	※「循環器対策担当者連絡会」に位置づけて実施 ・圏域データの情報提供 ・各市と保健所の健康づくり対策について
急性期病院との連絡会	平成25年 4月23日 平成25年11月15日	浜田医療センター、浜田市、江津市、保健所 14名	<1回目> ・連携方法について ・市のサービスについて情報提供 ・連絡会の持ち方について <2回目> ・内容:症例検討 ・看護紹介状・脳卒中発症面接票について
【参画】 脳卒中地域連携クリティカルパス合同委員会	平成25年 7月 5日 平成25年11月15日 平成26年 2月28日	浜田医療センター、益田赤十字病院、益田医師会病院、済生会江津病院、浜田市、江津市、益田・浜田保健所	1. 地域連携パスの運用状況 2. 浜田圏域脳卒中対策事業に関する報告 3. 意見交換

(2) 糖尿病予防対策

名称	開催日	参加者	内 容
浜田圏域糖尿病対策検討会議専門部会	平成25年9月26日	管内医師会代表、糖尿病専門医透視医、眼科医、歯科医、浜田市、江津市、保健所等 14名	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度の糖尿病対策について 糖尿病管理のしおりの作成について 世界糖尿病デーの取り組みについて
浜田圏域糖尿病対策検討会議	平成26年3月20日	管内各医師会糖尿病対策担当理事、浜田江津歯科医師会、糖尿病療養指導相談会、浜田地区栄養士会、健康運動指導士会、浜田市、江津市、保健所等 16名	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度浜田圏域糖尿病対策の状況 糖尿病対策推進会議の取組 各団体の取組 平成26年度浜田圏域糖尿病対策実施計画について
浜田圏域循環器対策担当者連絡会	平成26年2月14日	浜田市、江津市、保健所 13名	<ul style="list-style-type: none"> 所長講話 圏域データについて情報提供 意見交換
糖尿病対策関係者研修会	平成25年6月18日	医師、歯科医師、医療従事者、行政担当者、糖尿病友の会会員、その他糖尿病対策関係者 83名	<ul style="list-style-type: none"> 「島根県糖尿病予防・管理指針について」 松江赤十字病院 佐藤利昭先生 「管理栄養士による栄養指導について」 島根県糖尿病療養支援機構 大庭知子氏
研修会及び啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ○関係者へ他団体主催の研修を案内 <ul style="list-style-type: none"> ・石見糖尿病談話会(H25.4.17, H25.8.29, H25.11.20) ・糖尿病腎症講演会(H26.1.10) ・医師・医療スタッフ向け研修講座 糖尿病診療-最新の動向(H25.6.2,H26.2.23) ○啓発活動として「浜田駅北医療フェスタ」に参加(H25.10.27) <ul style="list-style-type: none"> 内容:血糖測定、血圧測定、骨折リスク評価、相談、糖尿病友の会の紹介、パネル展示等 コーナー来場者:約300名 		

(3) がん予防対策

	名称	開催日	参加者	内 容
検討会の開催	浜田圏域乳がん検診精度管理委員会	平成25年9月27日	がん検診・精密検査実施医療機関、環境保健公社、浜田市、江津市、保健所 19名	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の委員会の課題について ・平成23年度の検診受診結果について ・平成24年度の検診受診状況について ・早期発見に向けた効果的な取組について ・今後の統計データの集計について ※委員会に先立ち、行政側の目線合わせを行うため、連絡会を開催(9/20)
	浜田圏域がん対策担当者連絡会	平成26年2月28日	環境保健公社、浜田市、江津市、保健所 7名	<ul style="list-style-type: none"> ・各種がん検診の受診状況・管理状況について ・各機関における次年度実施予定の事業について ・がん検診受診率向上に向けた取組について
啓発イベントの開催	知ろう語ろうがんのことin浜田	平成25年12月22日	172名(来場者125名、関係者47名)	<ul style="list-style-type: none"> ・展示ブース閲覧 (ほっとサロン浜田、乳がん自己検診法、健康長寿しまね推進会議、浜田医療センター、アフラック) ・お達者落語会「笑って健康(笑いで病気を追い払う)」「大笑いの勧め」 (春雨や落雷師匠) ・島根県のがん対策～がんに向かい合う地域づくり～ (中本保健所長) ・浜田医療センターの取組紹介 (浜田医療センター 宮本相談員) ・スタンプラリー抽選会
その他啓発活動				<ul style="list-style-type: none"> ○がん征圧月間(9月)、がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間(10月)の取組 (1)街頭キャンペーン(9月10日) ゆめタウン浜田、江津グリーンモールにおける啓発チラシ・グッズの配布(1000部) ※世界自殺予防デーのキャンペーンと同時に実施 (2)ケーブルテレビによる啓発(10月17日) がんに関する基礎知識、圏域の状況や取組、下半期検診日程等についての情報提供 ※浜田市・江津市・石見CATVとの連携実施 (3)関係機関・団体への周知 街頭キャンペーン参加依頼に併せた周知 (4)来庁者・職員への周知(9～10月) 浜田合庁・保健所における啓発幟やチラシの設置 ○がん検診啓発協力事業所の登録拡大 新規登録:4事業所 ○乳がん検診自己検診指導者養成講座(がん対策推進室主催)における啓発(1月29日) 内 容:圏域のがん関連協力者の周知と活用依頼 ○職域保健関係会議等における啓発 内 容:検診受診勧奨啓発ちらしの配布、がん対策の取組についての情報提供 ○啓発幟・乳がん自己検診啓発DVD等の貸出

3 働き盛り世代の健康づくりの推進

働き盛り世代を対象に行われている保健事業は、根拠法令の違いによって制度間のつながりがないことから、地域保健と職域保健の広域的な連携を図り、継続的な健康管理に関する支援体制を整備することが全国的にも課題となっている。

浜田圏域の現状をみると、壮年期(40～64歳)の年齢調整死亡率が男女とも県内で最も高く(【男性】島根県:418.1、浜田圏域:474.0【女性】島根県:179.1、浜田圏域:222.2)、疾患別の死亡原因は、①がん ②自死 ③脳血管疾患 の順で多くなっている。(2010年を中心とした5年平均)

このような状況を受けて、浜田圏域では当面の重点目標を「脳卒中による死亡率の減少」と「自死の防止」の2点とし、健康長寿しまね推進会議等と連携して対策に取り組んでいる。

地域・職域連携推進事業

	名称	開催日	参加者	内 容
検討会の開催	浜田圏域地域・職域連携推進協議会	平成26年3月6日	管内医師会代表、商工会議所、商工会連合会、労働基準監督署、全国健康保険協会、浜田市、江津市、保健所等 13名	<ul style="list-style-type: none"> ・浜田圏域における健康状況の課題について ・脳血管疾患対策について ・メンタルヘルス対策について ・来年度の取組について
啓発イベントの開催	職場の健康づくり講演会	平成25年12月11日	87名(59事業所及び関係団体)	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所の健康づくり活動について <ul style="list-style-type: none"> ・優良事業所表彰 ・表彰事業所による事例発表 (株式会社石田弥太郎商店 三浦和人氏) ○浜田圏域における健康状況と、事業所のたばこ対策の取組について (浜田保健所 健康増進課) ○「働き盛りの人の脳卒中予防～健康づくり:食生活、血圧管理、運動、禁煙とメタボ対策～」 (松江市立病院地域医療課健診係 青木秀暢氏)
その他啓発活動等		<ul style="list-style-type: none"> ○メンタルヘルス出前講座の実施 ※詳細は「心の健康づくり部会」に記載 ○江津市職域保健部会への参画(8月23日、3月10日) 		

4 母子保健対策

母子保健対策は、母子保健法、児童福祉法を基本として次の世代を担うこどもたちを心身ともに健康に生み育てるために、思春期から一貫した対策を行っている。地域保健法の全面施行により平成9年度から住民に身近な保健サービスは市町村において実施し県はより専門的広域的な課題に基づく母子保健事業を実施している。平成25年度より、未熟児養育医療給付事業や育成医療支給事業が市町村へ権限委譲となった。

浜田圏域においては親と子が健やかに安心して暮らせる社会づくりの推進のため「浜田圏域健やか親子しまね後期計画」（平成20年度から平成24年度）を策定し、平成24年度は評価・次期計画の作成を行った。平成25年度からは新計画を策定し、関係機関が一体となり計画の推進を図っている。

(1) 母子保健推進体制の充実

母子保健推進協議会

開催日	参加者	内容
平成25年8月22日	浜田市医師会、浜田医療センター、済生会江津総合病院、浜田市保育連盟、江津市保育研究会所長部会、浜田市教育研究会養護部会、浜田市民生児童委員協議会、浜田市子育て支援課子育て支援センター、江津市子育て支援課子育てサポートセンター、浜田市子育て支援課、江津市子育て支援課、浜田児童相談所、浜田教育事務所、浜田保健所 計14名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜田圏域母子保健推進協議会の取り組み経過について ・ 「浜田圏域健やか親子しまね計画（平成25年度～29年度）」について ・ 浜田圏域母子保健従事者等研修会について

母子保健担当者会

開催日	参加者	内容
平成25年12月25日	管内市母子保健担当者、保健所職員等 計13名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1歳6か月児健康診査マニュアルの改訂内容の確認 ・ 1歳6か月児健康診査マニュアル改訂に向けて ①浜田市、江津市、保健所における来年度以降の計画について ②モデル事業の実施について③遊びの場、親子教室等の実施について

(2) 周産期医療体制検討会

圏域における周産期医療体制の現状を共通認識し、体制整備を図るため、関係者による検討会を開催

開催日	参加者	内容
平成26年2月26日	管内分娩施設の医師・看護師長等、産科診療所の医師、浜田市、江津市、保健所 計16名	<ul style="list-style-type: none"> ・島根県保健医療計画浜田圏域編（周産期医療）について ・周産期医療、保健の現状について ・意見交換

(3) 周産期からのメンタルヘルス支援・子育て支援に関する研修会(地域保健専門職員研修)

産後うつ病について理解を深め、圏域における産後うつ病の早期発見、早期支援のための体制づくり、産後の母親、児、家族が暮らしやすい地域づくりを目指すために研修会を開催

開催日	参加者	内容
平成25年7月4日	医療機関関係者、市町村関係者、保健所職員、その他母子保健に係る関係者等 計25名	<ul style="list-style-type: none"> ・講演 「周産期からのメンタルヘルス・子育て支援」 講師：島根県障がい福祉課 鈴木寛子医療企画監 ・演習 「エジンバラ産後うつ質問票の活用について」

(4) 産後うつ対策に関する連絡会

開催日	参加者	内容
平成25年10月28日	済生会江津総合病院、江津市、浜田保健所 計7名	<ul style="list-style-type: none"> ・エジンバラ産後うつ病質問票の効果的な活用について
平成25年10月29日	浜田医療センター、浜田市、浜田保健所 計7名	

(5) 長期療養児支援事業 医療的ケア必要児等ハイリスク児保健・医療連携事業

相談・訪問指導実施件数

	回数	実人員	延人員									(再掲)	(再掲)		
				申請等	医療	家庭看護	福祉制度	就学・学校	食事・栄養	歯科	その他	医療的ケア	新規申請	重症	
相談指導	小慢対象児	7	6	7	4	2						1			
	その他	3	3	8	8										
	合計	10	9	15	12	2						1			
訪問指導	小慢対象児														
	その他		2	12									12		
	合計		2	12									12		

◇親子交流会

- ・日本二分脊椎症協会島根支部第12回総会への参加（平成25年6月9日）

◇その他

- ・小児慢性特定疾患対象者の状況やニーズを把握するため、小児慢性特定疾患医療受診券の更新者を対象にアンケートを実施
 実施期間：平成25年6月24日～8月2日
 対象者：平成25年度小児慢性特定疾患更新者54名
 回収率：75.9%

(6) 母子保健に関する統計

[妊娠届出の状況]

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
妊娠届出数	673	613	628	610	631
満11週以内	568	548	570	559	562
満12～19週	84	55	39	46	54
満20～27週	1	6	5	3	7
満28週以上	2	1	1	1	3
分娩後				1	1
不詳	18	3	13	0	4

[出生数及び低体重児の出生状況]

項 目	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
出 生 数	605	642	609	593	591
低体重児出生数	54	56	73	81	66
出 生 割 合	8.9	8.7	12.0	13.7	11.2

[妊婦、乳幼児健康診査等の実施状況]

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
妊婦一般	受診票交付数	1,346	1,242	1,256	1,220	1,262
	延受診者数	1,244	1,094	1,257	1,168	1,216
	受診率(%)	92.4	88.1	100.1	95.7	96.4
乳児一般	受診票交付数	1,242	1,242	1,244	1,218	1,098
	延受診者数	911	893	899	866	845
	受診率	73.3	71.9	72.3	71.1	77.0
1歳6カ月児	該当児数	589	607	654	625	634
	受診者数	570	590	628	588	612
	受診率	96.8	97.2	96.0	94.1	96.5
3歳児	該当児数	669	665	618	633	633
	受診者数	639	640	593	603	596
	受診率	95.5	96.2	96.0	95.3	94.2

[人工妊娠中絶、不妊手術の状況]

(平成25年度)

件数	件	年齢階級別実施件数								
		20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳以上	不詳
人工妊娠中絶	6	23	17	33	28	11	2	0	0	120
7週以前	6	12	8	27	23	5	1	0	0	73
8～11週	3	7	10	7	10	2	0	0	0	39
12～15週	2	2	1	0	1	0	1	0	0	7
16～19週	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
20～21週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
週不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不妊手術	0	0	3	5	4	0	0	0	0	12

※人工妊娠中絶件数 管内者 91 件、管外者 29 件

※不妊手術件数 管内者 10 件、管外者 2 件

〔小児慢性特定疾患治療申請状況〕

(平成25年度)

	悪性新生物	慢性心疾患	ぜんそく	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血友病血液疾患	神経筋疾患	慢性消化器疾患	計
申請件数	7	2	1	6	19	2	3	7	5	2	2	56

〔特定不妊治療費助成件数〕

(平成25年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申請件数	1	3	1	2	5	3	11	5	5	6	7	12	61

〔平成25年度各市の出生、制度等の利用状況〕

区分	項	目	単位	浜田市	江津市	計	確認日	
母子保健	出生数		人	429	164	593	H25.9.1	
		うち低体重児出生	人	62	19	81	H25.9.1	
	妊娠届出		件	436	174	610	H25.9.1	
		満11週以内	件	401	158	559	H25.9.1	
		満12～19週	件	32	14	46	H25.9.1	
		満20～27週	件	2	1	3	H25.9.1	
		満28週以上	件	1	1	2	H25.9.1	
		不詳	件	0	0	0	H25.9.1	
	妊婦、乳幼児健康診査妊婦、乳幼児健康診査	妊婦一般	受診票交付	人	872	348	1,220	H25.9.1
			延受診者	人	841	327	1,168	H25.9.1
			受診率	%	96.4	100.0	95.7	H25.9.1
		乳児一般	受診票交付	人	878	340	1,218	H25.9.1
			延受診者	人	617	249	866	H25.9.1
			受診率	%	70.3	73.2	71.1	H25.9.1
		1歳6ヶ月児	該当児数	人	460	165	625	H25.9.1
			受診者	人	435	153	588	H25.9.1
			受診率	%	94.6	92.7	94.1	H25.9.1
	3歳児	該当児数	人	462	171	633	H25.9.1	
		受診者	人	440	163	603	H25.9.1	
		受診率	%	95.2	95.3	95.3	H25.9.1	
	小児慢性特定疾患治療申請		件	38	18	56	H26.3.31	
		悪性新生物	件	4	3	7	H26.3.31	
		慢性腎疾患	件	1	1	2	H26.3.31	
		ぜんそく	件	1	0	1	H26.3.31	
		慢性心疾患	件	5	1	6	H26.3.31	
		内分泌疾患	件	13	6	19	H26.3.31	
		膠原病	件	2	0	2	H26.3.31	
糖尿病		件	2	1	3	H26.3.31		
先天性代謝異常		件	4	3	7	H26.3.31		
血友病等血液疾患		件	4	1	5	H26.3.31		
神経筋疾患		件	1	1	2	H26.3.31		
慢性消化器疾患		件	1	1	2	H26.3.31		

市町村母子保健事業一覧（平成 25 年度）

市町村名		浜 田 市	江 津 市		
H25年出生数		439人	170人		
青 思 年 春 期	講演会・教室 ・フォーラム等	赤ちゃん登校日 浜田：中高生ヤング子育てサポーター育成事業 弥栄：赤ちゃんふれあい体験事業、1日パバママ体験 （社協事業の協力） 三隅：小学生赤ちゃんふれあい体験（社協事業への協 力）	高校生ヘルシークッキング年3回		
妊 娠 中	妊娠届出の対応	母子手帳交付とともに保健指導を実施 妊娠届出用紙に虐待リスク把握のアンケート項目を追加 している 保健指導・栄養指導・食生活アンケート	母子手帳交付 保健指導、栄養指導 生活アンケートをとり、虐待予防の視点をもって対応		
	健康相談	電話相談、窓口相談（随時） 転入時母子保健サービス紹介とともに保健指導実施	電話相談、窓口相談を随時実施		
	妊婦健診（委託健 診）	妊婦一般健康診査（14回） 県内医療機関委託、県外も可能	妊婦一般健康診査（14回）県内医療機関委託		
	妊婦歯科健診	1歳6か月健診時希望者のみ実施	母子手帳交付時に健診を勧める		
	妊婦訪問	必要時	必要時		
	妊婦に関する教室 活動	ママパパ学級（計12回）・音楽リラクゼーション(月2 回)・妊婦さんのおっぱい相談(月1回)・相談事業	パバママ教室（年12回）、おっぱい相談（年12回）		
出 生	出生届出時の保健 指導	出生届出時に、母子保健・子育て支援サービス紹介、予 防接種の説明に加え母子の健康状態把握し、保健指導実 施・こんにちは赤ちゃん訪問のPR	母子の健康状態把握、予防接種手帳の発行、赤ちゃんの 手引き配布（健診・相談）、訪問のPR、母子保健サー ビスの説明		
新 生 児 ・ 乳 幼 児 期	こんにちは赤ちゃん 事業 *訪問者、継続支 援の方法等	訪問者：専門職及び市職員（保健師・委嘱助産師・看護 師・栄養士等）、ボランティア等一般の人（子育て応援 隊等） 継続支援が必要な対象者に対しては、訪問、乳児健診、 その他母子保健事業・子育て支援事業において継続支援 する。	保健師（2名）、子育て支援センター保育士（2名）で 訪問 訪問の状況から必要なケースは保健師が継続。その他必 要な支援サービスへの調整などを行う。		
	養育支援訪問事業 *中核機関名、 サービス等	【中核機関：浜田市子育て支援課】 対象家庭に対し、電話、訪問等による積極的アプローチ を行い、養育に関しての必要時応じたきめ細かい助言指 導を行う。困難及び緊急事例については、児童家庭相談 係（要保護児童対策地域協議会調整機関）へ報告し対応 を協議、必要に応じ児童相談連絡会（月1回）で関係機 関と連携し、対応を検討する。			
	訪 問	新生児	委嘱助産師保健師による訪問（出生連絡票による希望 者、その他希望者、必要時） 必要時保健師による（ハイリスク者） こんにちは赤ちゃん事業による訪問	病院から連絡訪問依頼ケース（ハイリスク児） 必要なケース（育児不安の強いケース）	
		乳児	こんにちは赤ちゃん事業による訪問 必要時	健診未受診児、要観察児	
		幼児	必要時	健診未受診児、要観察児	
	健 康 診 断	乳 児	医療機関 委託健診	乳児一般健康診査（前期・後期）県内医療機関委託	乳児一般健康診査（1か月・10か月）県内医療機関委 託
			集団検診	年12回（4～5か月）	年6回（3～5か月）
1歳6か月児		年12回（1歳6か月～1歳7か月）	年6回（1歳6か月）		
3歳児		年12回（3歳3か月～3歳4か月）	年6回（3歳4か月～3歳5か月）		
その他					
未受診者対策	郵送にて勧奨、次回呼び出し、訪問、園巡回時発達等の 確認	郵送で勧奨、訪問、保育園巡回相談時発達等の確認			

市町村名		浜 田 市	江 津 市	
新生児・乳幼児期	教室	離乳食等	離乳食講座（毎月実施） 幼児食講習（毎月実施） 浜田：子育て広場（年12回×浜田5地区） 三隅：みすみ子育て広場（社会福祉協議会月2回、三隅支所月2回（育児相談を含む）公民館毎週1回） 金城・旭・弥栄：育児相談・子育てサロンにあわせて実施 ひよこの会（1歳未満児と保護者の会）・すくすく講座（年6回）・音楽リラクゼーション（月2回）・親子キッドピクス（月1回）・絵本の会（月2回）・3B体操（月1回）・手作り布おもちゃの会（月1回）・お楽しみ会（月1回）・育児相談、測定（週2回）・季節の行事	年24回（2会場で実施、健康相談と同時） 年6回（乳児健診と同時実施）
		乳児	子育てサポートセンター主催：ふれあい遊び・赤ちゃん講座・ベビー3B体操など	
		幼児	出前講座：「早寝早起き朝ごはん」「むし歯予防」など希望により随時開催	
	歯科保健	教室	浜田：在宅児年4回（フッ化物歯面塗布とあわせて個別歯科指導実施） 金城・旭・弥栄：在宅児年2回（フッ化物歯面塗布とあわせて個別歯科指導実施） 三隅：在宅児年4回（フッ化物歯面塗布とあわせて個別歯科指導・個別栄養指導実施）	年2回むし歯予防教室
		フッ化物塗布	浜田：在宅児年4回、各保育園・幼稚園年2回ずつ 金城・弥栄・三隅：各保育園で在宅児合わせて年2回 三隅：1歳以上の在宅児（年4回）と保育園（各保育所年2回）/旭：在宅児年2回	年2回むし歯予防教室にて歯科検診と同時実施 各保育園・幼稚園 年2回ずつ 1歳6ヶ月健診時（年6回）
		フッ化物洗口	小中学校（教育委員会の事業）	市内4校で実施（教育委員会事業）
	子育て相談	来庁者随時 子育て支援センター育児相談（週2回、保健師、栄養士、保育士、助産師、歯科衛生士による相談）、その他随時メール・電話相談 金城・三隅・旭：月1回育児相談実施 弥栄：年6回育児相談実施	年24回（2会場で実施、離乳食教室と同時） 子育てサポートセンターにて随時実施（メール・電話等）、 子育てサポートセンター主催事業時の個別栄養相談（年48回） おっぱい相談（江津会場 年12回）	
	その他子育て支援事業（ブックスタート事業他）	転入時、乳幼児に母子保健・子育て支援サービス紹介、予防接種紹介とともに保健指導実施 浜田市子育て応援隊育成事業 乳児健診時に読み聞かせ及び絵本のプレゼント 乳幼児期からの生活習慣づくりモデル事業 事故予防対策事業 旭：子育てサロン・広場（社会福祉協議会事業）への職員派遣	子育てサポートセンター事業： 食育講座 命の大切さを知るこころの教育（小学生・中学生・高校生セミナー） ボランティア育成講座 こどもまつり（6月）・クリスマスコンサート（12月） 乳児健診時に読み聞かせ及び絵本のプレゼント、3歳児健診時での絵本の読み聞かせ	
	障害児等	ミニ療育教室	風の子委託	
		発達クリニック	年12回すこやか健診	年12回発達健康相談
障害児相談等		随時 保育所幼稚園巡回相談 三隅聖こう寮巡回相談 おしゃべり会の開催（障害児を持つ親の会）	保育所巡回相談（7～10月） 発達フォロー児（在宅）を対象に健康相談を実施（年10回）	
推進体制	会議等	浜田市保健医療福祉協議会 要保護児童対策地域協議会（児童福祉） 浜田市特別支援連携協議会（教育委員会） 母子保健スタッフ連絡会 ケース検討会、金城げんきつ子運動推進委員会（教育委員会）、三隅自治区特別支援教育連絡会	要保護児童対策地域協議会 ごうつすくすく相談ネット協議会 健康づくり推進協議会母子保健部会 子育てサポートセンター・支援センター等事業連絡会	
	母子保健推進員（人）		0人	
	愛育班員（人）	助産師2人	0人	
	委嘱助産師等（新生児訪問）（人）	助産師2人	0人	

5 歯科保健対策

○80歳20本の歯推進事業

8020の達成を目指すため、「島根県歯と口腔の健康づくり計画」及び「浜田圏域保健医療計画」に基づき、関係機関と連携を図り、ライフステージに沿った歯科保健対策を推進する。

1) 歯科保健定着促進事業

(1) 歯科保健連絡調整会議

開催日	内 容	出席者
平成26年2月27日	<報告> 1 各種計画における歯科保健施策について 2 平成25年度の取り組み 1) 学童期歯科保健研修会 2) 浜田圏域残存歯調査結果 <協議> 1 今後の取り組みについて	・島根県歯科医師会浜田江津支部 ・島根県歯科衛生士会浜田支部 ・島根県環境保健公社浜田支所 ・浜田市 ・江津市 ・浜田市教育委員会 ・県庁健康推進課

(2) 歯科医師会への相談

・浜田圏域残存歯調査の実施にむけた相談の実施(2回)

(3) 浜田圏域残存歯調査

実施主体;浜田江津歯科医師会、浜田保健所

調査機関;平成25年6月1日～6月30日の1か月

対象者;浜田市・江津市在住20～69歳の歯科医療機関来院患者全て

調査者数:2,827名(分析対象者数は2,503名)

調査項目;①住所地 ②年齢 ③性別 ④主訴 ⑤残存歯数 ⑥歯肉の状況
⑦奥歯の喪失歯種と原因 ⑧生活習慣(1日の歯みがき回数)

4) 学童期歯科保健研修会

開催日	内 容	参加者
平成26年1月23日	1) 浜田圏域の現状 2) 事例発表 ①原井小学校 養護教諭 新井はるみ氏 ②有福小学校 養護教諭 白川扶美子氏 ③桜江小学校 養護教諭 小林 順子氏 3) グループワーク	・学校管理職 ・養護教諭 ・歯科医師 ・歯科衛生士 ・行政等 合計33名

2) 市支援

(1) フッ化物洗口技術支援

・フッ化物洗口の普及拡大に向け、関係者の理解を図るため、学童期歯科保健研修会を開催。
 ・学童期歯科保健研修会で、フッ化物応用に用いる薬剤の管理等について再確認。

(2) 人材確保への支援

・市町村歯科保健事業への人材確保調整(江津市)
 ・地域歯科衛生士の資質向上のための連絡会の開催(2か月に1回開催)

3) 啓発事業

(1) 「親と子のよい歯のコンクール」 地区大会

・平成25年5月9日(木) 親子4組(浜田3組、江津1組)

(2) 歯と口の健康週間における街頭啓発

・浜田合同庁舎内でのパネル展示
 ・浜田市健康福祉フェスティバルに併せアンケート調査等実施

4) 歯科保健に関する統計データ

[1歳6か月歯科健診結果年次推移]

①むし歯有病者率の年次推移

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
圏域平均	2.8	1.6	1.5	1.2	1.0	0.9	1.6	1.8	1.6	0.7	1.3	1.5	2.5
県内平均	4.0	5.2	4.3	4.7	4.4	4.3	4.5	3.3	3.0	2.3	2.3	2.4	

[3歳児歯科健診結果年次推移]

①むし歯有病者率の年次推移

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
圏域平均	27.9	27.4	26.8	24.1	20.1	21.0	14.9	14.7	14.7	13.0	13.7	11.3	17.8
県内平均	34.8	33.5	33.1	28.7	27.4	27.4	25.9	26.4	23.3	22.3	22.1	20.1	

②一人平均むし歯本数の年次推移

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
圏域平均	0.96	0.93	0.98	0.69	0.58	0.70	0.47	0.46	0.39	0.39	0.41	0.27	0.52
県内平均	1.18	1.40	1.36	1.11	1.22	1.04	0.95	0.84	0.81	0.77	0.72	0.64	

[フッ化物洗口実施施設一覧]

平成25年度

	施設名	施設区分	施設総人数(人)	実施者数(人)
浜田市	上府小学校	小学校	80	80
	有福小学校	小学校	15	15
	雲城小学校	小学校	151	148
	今福小学校	小学校	40	40
	波佐小学校	小学校	16	16
	今市小学校	小学校	95	95
	和田小学校	小学校	12	12
	市木小学校	小学校	10	10
	岡見小学校	小学校	60	60
	金城中学校	中学校	106	106
旭 中学校	中学校	46	46	
江津市	郷田小学校	小学校	112	110
	江津東小学校	小学校	129	126
	桜江小学校	小学校	112	112
	江東中学校	中学校	58	58
	桜江中学校	中学校	78	78
合計			1,120	1,112

[永久歯のむし歯状況(フッ化物洗口実施小学校)]

平成25年度

	一人平均むし歯数	
	全県	浜田圏域
小学校1年	0.10	0.01
小学校2年	0.25	0.04
小学校3年	0.28	0.08
小学校4年	0.51	0.09
小学校5年	0.47	0.13
小学校6年	0.83	0.20

[学校歯科健診結果(12歳児)]

一人平均むし歯本数の年次推移(市町村歯科保健対策評価表より)

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
圏域平均	2.09	1.91	1.62	1.61	1.41	1.44	0.92	0.99	1.14	1.48	0.97	1.17	0.92
県内平均	2.52	1.94	2.13	1.95	1.93	1.82	1.70	1.59	1.50	1.30	1.38	1.36	1.32

6 栄養改善対策

保健所における栄養改善対策は、地域の健康・栄養状態の把握・分析、住民への直接的な指導を行う市町村への支援、関係機関との広域的な調整等を行っている。また、健康増進法に基づく栄養表示基準や外食栄養成分表示制度等、住民が自分にとって望ましい「食」を選択できるような環境整備を推進している。

特定かつ多数人に食事を提供する施設の栄養管理については、健康増進法による助言、指導を行っている。

「食育」の推進については、各市、施設等で行われている様々な取組への支援と、食育に関わる関係者の研修・交流会を開催した。なお、管内各市においては、平成24年度に食育の推進に関する施策を計画的に推進するための「第2次食育推進計画」が策定された。

〔外食栄養成分表示店（健康づくり応援店）店舗数〕（H26.3.31現在）

	栄養成分表示店	健康情報提供店
実施店舗数	15	41

※重複有り

〔栄養表示基準相談件数〕

	31条		32条の2		集団（研修会）
	指導（指摘等あり）	事前相談	指導（指摘等あり）	事前相談	
件数	4	4	1	2	60

〔給食施設数〕

		栄養士（管理栄養士）がいる施設	栄養士（管理栄養士）がいない施設
特定給食施設	1回300食以上又は1日750食以上の施設	8	0
	1回100食以上又は1日250食以上の施設	28	2
その他の給食施設（1回50食以上）		27	9

〔給食施設指導状況〕

個別指導

	特定給食施設				その他の給食施設		合計
	指定施設		指定施設以外		病院	福祉施設	
	病院	福祉施設	病院	福祉施設・その他			
指導回数（施設数）	3		1	2	5	4	15

※〔その他の給食施設〕指導数には、1回50食未満の施設への指導も含む。

集団指導

名称	開催日	参集者	内容
特定給食施設等栄養管理担当者研修会	平成25年8月28日	給食施設給食担当者 70名	<ul style="list-style-type: none"> ○事例発表 <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災避難所等における栄養食事支援に携わって ・西部島根医療福祉センターにおける災害訓練について ○グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 災害時における栄養・食生活支援

〔食育の推進〕

名称	開催日	参集者	内容
食育検討会	平成25年8月1日 平成26年3月27日	栄養士会、食生活改善推進協議会、食品衛生協会、歯科医師会、歯科衛生士会等 11名	・地域における食育の普及啓発のために、食育活動にかかわる関係団体間の情報交換を実施。
食育推進研修・交流会	平成25年12月6日	食生活改善推進協議会、市担当者 22名	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク 地域における食育活動の推進について ・調理実習 わが家の一流シェフin島根料理コンクール応募作品等の試作
その他			<ul style="list-style-type: none"> ・浜田市食育推進ネットワーク会議、江津市食育推進会議への参画及び、食育啓発イベント「食育フェスタin浜田」への協力 ・ボランティアとして地域の食育活動等に貢献した人に対し、保健所長感謝状を授与 ◆H25年度 管内食生活改善推進員数：496名（浜田市366名 江津市130名）

7 地域保健体制の整備

地域においては、健康課題や地域の特性を踏まえた総合的な保健福祉活動の展開が必要である。圏域においては、浜田圏域健康長寿しまね推進会議、各市においては、下記のとおり、協議の場を設けて地域における保健対策を推進している。

〔市協議会等設置状況〕

市町村名	会 議 名	摘 要
浜 田 市	浜田市保健医療福祉協議会	①地域福祉専門部会 ②地域保健医療専門部会 ③高齢者保健福祉専門部会 ④障害者福祉専門部会 ⑤次世代育成専門部会 (子ども・子育て支援計画策定専門部会) ⑥食育推進ネットワーク会議
江 津 市	江津市保健福祉総合推進協議会	①健康づくり推進協議会(母子保健部会・職域保健部会) ②地域福祉推進協議会 ③高齢者福祉推進協議会 ④障害者保健福祉推進協議会 ⑤次世代育成支援推進協議会

〔地域保健専門職員研修会等開催状況〕

研 修 名	開催日	参加者	研 修 内 容
地域保健専門職員研修会	6月11日	9	新任保健師指導者連絡会「行政で働く保健師に必要な視点」
	7月4日	32	母子関係者研修「エジンバラ質問票・産後うつ対策」
	7月11日	8	新任保健師研修「事業計画とヘルスプロモーション」
	11月19日	17	「動機づけ面接法」
	11月29日	19	「災害時の保健活動検討会」
	3月19日	23	地域保健従事者研修「みる・つなぐ・動かす保健所勤務から」
	3月24日	15	企画研修成果発表会
圏域人材育成連絡会	6月11日	9	新任保健師の人材育成計画について

※平成18年度より県のゼロ予算事業として各圏域で開催

〔人材の確保状況〕 (H25年4月1日現在) (正規職員のみ)

		浜田市	金城自治区	旭自治区	弥栄自治区	三隅自治区	江津市	保健所
保 健 師	保健関係	9	2	2	2	2	5	6
	福祉関係	3	0	0	0	0	5	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
管理栄養士		2	0	1	0	1	3	1
歯科衛生士		0	0	0	0	0	0	1

8 精神保健福祉対策

精神保健福祉対策は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、障害者総合支援法、自殺対策基本法等に基づき、全てのライフステージにおける1次予防の心の健康づくりから、精神障がい者が地域社会で充実した生活を送ることを目指した3次予防までの対策を行っている。

浜田圏域の現状をみると、男性は働き盛り、女性は高齢者において自死者が多いため、自死予防を見越した心の健康づくりや早期発見・早期治療の強化、加えて精神科救急体制の整備による適切な医療の確保に向けた取組を推進している。

平成20年度からは、「治療中断予防システム」を構築することにより、病状悪化予防の推進を図っている。また、平成23年11月～平成25年度にかけて、多職種による訪問支援を実施するアウトリーチ推進（国のモデル）事業に取組んだ。

1) 心の健康づくり

地域住民が心の健康に関心を持ち、心の健康の保持増進ができるように、各関係機関が連携してライフサイクルに沿った普及啓発活動に努めている。

(1) 精神保健相談

- ① 定期相談（所内相談12回＋巡回相談21回、計33回計画） 23件
- ② 随時相談 129件
- ③ 訪問相談 92件
- ④ 電話相談 1121件

(2) メンタルヘルス出張講座（事業所を対象に実施）

事業所を対象に、職場におけるメンタルヘルス対策の推進を目的に実施。

開催日	事業所名	参加者	内 容
9月20日	ケーピー株式会社	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・職場における心の健康づくり ・各種相談窓口の周知
9月26日	極東興和株式会社	60名	
10月4日	高砂ケアセンター	20名	
12月6日、13日	特別養護老人ホームあさひ園	27名	
3月20日	浜田市社会福祉協議会	15名	

2) 自死防止対策

浜田圏域の自死者数は、平成23年度は20人で近年減少傾向にある。圏域別の年齢調整死亡率では、壮年期男性の自殺死亡率が他圏域に比べ高い状況にある。

(1) 浜田圏域自死防止対策連絡会

開催日	参加者	内 容
10月3日	10機関(10名) 西川病院、浜田医療センター、江津商工会議所、浜田労働基準監督署、浜田公共職業安定所、ヴィレッジせいわ、浜田警察署、江津警察署、浜田市、江津市	<ul style="list-style-type: none"> ・島根県自死対策総合計画について ・島根県及び浜田圏域における自死の現状について ・壮年期における自死防止対策の取組について (ゲートキーパー養成、かかりつけ医等心の健康対応力向上研修会、ストレスチェック表の活用)

(2) 普及啓発活動

①世界自殺予防デー街頭キャンペーン (がん征圧月間街頭キャンペーンと同時開催)

開催日	参加者	内容
9月10日	22機関 (41名) 浜田圏域健康長寿しまね推進会議、浜田圏域自死防止対策連絡会、メンタルヘルスボランティアのぞみの会、浜田圏域地域・職域連携推進協議会	心の健康についての普及啓発のため、チラシ・グッズを計1000部配布。 グリーンモール、ゆめタウン浜田にて実施。

②浜田合同庁舎内幟・ポスター・パネル展示

③浜田合同庁舎内世界自殺予防デー啓発放送

④浜田圏域自死防止対策連絡会構成員及び浜田圏域健康長寿しまね推進会議心の健康づくり部会員の各職場における啓発(チラシ配布・放送)。

⑤その他

- ・「心の疲労度チェックノート」を約400冊要望のあった事業所や各種会議、出張講座等にて配布。

- ・啓発ティッシュを2000個作成し各種研修会やイベントにて配布。

(3) 人材育成

①ゲートキーパー養成研修

開催日	参加者	内容
11月11日	島根県理容組合浜田支部 43名	・心の病気や自死の現状 ・ゲートキーパーの役割
1月14日	浜田市三隅地区民生児童委員協議会 29名	・心の病気や自死の現状 ・ゲートキーパーの役割
2月24日	江津市民生児童委員協議会 110名	・心の病気や自死の現状 ・ゲートキーパーの役割

②かかりつけ医等心の健康対応力向上研修会

開催日	参加者	内容
2月18日	44名 浜田圏域の医療機関の医師、看護師、行政等	・島根県及び浜田圏域における自死の現状と対策について(浜田保健所) ・職場のメンタルヘルス対策の現状と取り組みについて (産業カウンセラー 加納美代子氏) ・一般医療現場におけるアルコール依存症への対応について (西川病院 副院長 松本貴久氏)

3) 精神科救急医療対策

精神疾患の発症、悪化により速やかな医療提供が必要な者に対して、迅速かつ適切な医療が確保できる体制づくりを図ることを目指す。近年は、身体、精神の双方の症状を併せ持つ患者が適切でかつ速やかに医療を提供できるよう、関係機関の連携を図っている。

(1) 精神科救急医療体制整備圏域連絡調整会値

開催日時	参加者	内容
10月10日	11機関（14名） 西川病院、たかさごクリニック、浜田医療センター、県立こころの医療センター、浜田警察署、江津警察署、浜田消防署、江津消防署、ヴィレッジせいわ、浜田市、江津市	<ul style="list-style-type: none"> 精神科救急医療体制整備事業実績報告 各機関における相談対応等の状況や浜田地域治療中断予防システム等に関する意見交換

(2) 措置入院・通報処理状況（平成25年度実績）

	申請通報件数		
	申請通報件数	措置件数	非該当
23条による申請	1	1	0
24条による通報	8	7	1
25条による通報	3	0	3
26条による通報	3	0	3
計	15	8	7

4) 社会復帰対策

精神障がい者が自立した日常生活を営むためには、医療、保健、福祉分野における包括的な支援体制を構築する必要がある。そのため、圏域における限られた社会資源の効果的な活用が図られるよう、現状や課題の把握に努め、各関係機関の連携強化を図っている。

(1) 精神障がい者社会適応訓練事業

- ・実績なし

(2) 精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業

①精神障害者地域生活移行・地域定着支援圏域会議

- ・7月25日開催（精神保健福祉協議会と同時開催）

②自立支援ボランティア活用事業

※養成者・登録者：精神保健福祉従事経験者12名登録（平成26年3月末現在）

- ・活用状況：対象者5ケースに対して5名のボランティアが合計36回支援

③こころの健康ボランティア養成講座

開催日	開催回数	参加者数（述べ）	内容
10月22日 11月5日 11月8, 12, 20日 11月27日	4回	12名	<ul style="list-style-type: none"> 心の病気について 精神障がい者への支援について 施設体験実習 ボランティア活動について

※参加者12名中、修了証交付者は、1名のみ

(3) 精神障がい者アウトリーチ推進事業（平成23年11月～平成25年度 国モデル事業）

自らの力では医療を受けることが困難な精神障がい者に対して、医療、保健、福祉等の専門職チームで家庭等に出向いて支援をすることで、精神症状が重症化を予防および地域生活の継続を目指した。

① 受理会議

開催日時	参加機関	内容
毎月第3月曜日 (計11回)	こころクリニックせいわ(委託事業所) 浜田市 江津市 訪問看護ステーションこころ	・新規相談者における支援の可否 ・支援経過および個別評価

- ・相談受付数：6名（平成23年11月～平成26年1月末）
- ・支援結果：3名は支援体制が構築できたため支援終了
3名は引き続き支援継続

② 評価検討委員会(1回/3ヶ月)

開催日時	参加機関	内容
6月25日	(10機関) こころクリニックせいわ(委託事業所) 西川病院 たかさごケアセンター	・支援状況報告
9月24日	田中クリニック 島根県弁護士会 ヴィレッジせいわ 浜田圏域自立支援協議会事務局	・個別支援評価について ・事業評価について
12月20日	浜田市、江津市 こころの医療センター 心と体の相談センター 事務局：障がい福祉課、浜田保健所 オブザーバー：県央保健所、益田保健所	・圏域要綱のみなおし ・意見交換

5) 地域精神保健医療福祉推進体制の整備

浜田圏域は精神科デイケアや精神科訪問看護の利用者数、精神障害者保健福祉手帳取得数が全国平均を上回っている状況である。そのために、保健・医療・福祉機関が連携し、精神保健福祉体制の現状や課題について検討し、充実した支援体制の構築を目指している。

(1) 浜田圏域精神保健福祉協議会

開催日時	参加機関	内容
7月25日	26機関 (25名) 浜田市医師会、江津市医師会、 西川病院、浜田医療センター、 たかさごクリニック、こころクリニック せいわ、島田病院、高砂訪問看護ス テーション、ヴィレッジせいわ、アク ティブ工房、浜田圏域自立支援協議会 事務局、江津市地域活動支援センター さくらんぼのお家、浜田市障害者生活 支援センター、浜田地域精神保健家族 会連絡会、当事者会ふたば会、心の健 康ボランティアのぞみの会、浜田地域 介護支援専門員協会、浜田公共職業安 定所、浜田障害者就業・生活支援セン ターレント、浜田市・江津市社会福祉 協議会、浜田市民生児童委員協議会、	・浜田圏域保健医療計画 「精神疾患対策」について ・精神科疾患全般、うつ病、認知症 における施策の方向性について

	江津市民生児童委員協議会、 浜田市、江津市	
--	--------------------------	--

(2) 浜田圏域精神保健担当者連絡会

開催日時	参加機関	内容
6月10日	浜田市（高齢障がい課） 江津市（社会福祉課）	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の精神保健福祉対策の現状と今後について ・意見交換

6) 子どもの心の診療ネットワーク事業（平成25年度新規事業）

島根県では子どもの心の問題、児童虐待や発達障害児に対する支援体制を構築するために、県立こころの医療センターを中核として平成24年度から当事業を開始した。浜田圏域においては限られた社会資源の中で、関係機関が連携を図り、切れ目なく支援できる体制の構築、支援者の人材育成に向けた取組を目指している。

(1) 浜田圏域子どもの心の診療ネットワーク会議

開催日時	参加機関	内容
2月5日	11機関（16名） 西部島根医療福祉センター、西川病院、浜田市医師会、江津市医師会、浜田市教育委員会、江津市教育委員会、西部発達障害者支援センターウィンド、浜田市、江津市、浜田児童相談所	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心の診療ネットワーク事業説明 ・各機関における子どもの心の診療および相談対応の状況について ・圏域における診療・相談・連携体制のあり方について

(2) 人材育成

①子どもの心の診療ネットワーク事業浜田圏域研修会

開催日時	参加機関	内容
12月6日	(63名) 各関係機関職員 (教育機関、医療機関、行政等)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業説明 ・講演 「思春期の臨床 ～医療現場から見えてくるもの～」 講師 県立こころの医療センター 医療技術部長 萬木暁雄氏

②「子どもの心を考える」かかりつけ医・学校医等研修会

(島根県障がい福祉課主催：各圏域においてテレビ会議システムで開催)

開催日時	参加機関	内容
10月20日	23名（浜田圏域） かかりつけ医や学校医として子どもと関わる小児科医 内科医等の医師、 医療・保健・福祉・教育関係者等	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 「子どもの心を育むために ～心身症の子どもと家族から学ぶ～」 講師：大阪医科大学附属病院発達小児科長 田中英高氏 ・講演 「地域の医師の立場から、子どもの心を考える」 講師①西部島根医療福祉センター医長 大野貴子氏 講師②くらすこどもクリニック院長 倉田さつき氏

7)精神保健に関する統計

[措置入院・通報処理状況] (平成25年度実績)

(単位：件)

	申請通報件数		
	措置件数	非該当	
23条による申請	1	1	0
24条による通報	8	7	1
25条による通報	3	0	3
26条による通報	3	0	3
計	15	8	7

[医療保護入院届出状況]

(単位：件)

年度 疾患名	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
老年期器質性精神病	149	118	139	115	106
アルコール精神病	7	3	2	7	4
統合失調症	59	56	56	84	54
そううつ病	17	14	15	27	18
その他(てんかん等)	3	4	3	12	20
計	235	195	215	245	202

[精神保健相談実施状況]

(単位：件)

年度 区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
方法別	2,964	1,650	1,657	1,013	1,365
定期相談	50	37	42	32	23
随時相談	166	80	119	116	129
電話	2,526	1,417	1,393	809	1,121
訪問	222	116	103	56	92
内容別*	438	165	264	204	244
社会復帰	66	31	0	0	3
老人精神保健	13	8	26	7	9
アルコール	36	5	14	6	2
思春期保健	30	3	8	0	6
心の健康づくり	44	7	17	2	4
薬物	0	1	3	0	0
その他	249	110	196	189	218

※内容別：電話相談を除く

[アウトリーチ受理会議相談受付状況]

(単位：人)

	平成23年度 (11月～)	平成24年度	平成25年度 (～H26.1末)
相談受付数	6	5	3
受理会議結果			
支援開始	3	2	1
支援しない※	3	3	2

※受理不可の理由：家族の同意が得られない、発達障害が主となり他機関で支援

《医事・難病支援課》

1 医療対策

(1) 医療提供体制の整備

改正された島根県保健医療計画の期間は平成25年度から平成29年度までの5年間で、平成25年度は期間の1年目にあたる。浜田地域保健医療対策会議（全体会議）において、保健医療提供体制の確保について、今後の施策の方向性について検討した。

また、災害医療への対応や在宅医療の推進など、医療の提供体制の検討を行った。

(全体会議)

○浜田地域保健医療対策会議

平成26年3月3日	島根県保健医療計画の進捗状況について
-----------	--------------------

(テーマ別の検討会議)

○災害医療対策会議

平成205年10月2日	島根県医療救護実施要綱について
-------------	-----------------

○難病支援連絡会

難病ネットワーク会議 平成25年7月26日	浜田圏域の難病療養支援の取組状況 浜田圏域の難病対策の現状と課題、今後の取組について
在宅難病患者療養支援の 災害時の備えについての ワーキング 平成26年2月12日	難病患者の災害時の要援護者支援について 災害時の備えガイドラインについて

○在宅医療推進会議

平成26年3月13日	在宅医療推進会議の設置について 在宅医療の推進のための事業・調査について
------------	---

○緩和ケアネットワーク会議

	開催無し
--	------

(2) 医師・看護師等確保対策

平成25年8月19-21日	平成25年度夏季地域医療実習（浜田市国民健康保険診療所連合体、浜田医療センター、済生会江津総合病院、浜田保健所）（島根大学、鳥取大学から6名）
平成26年2月25-27日	平成25年度春季地域医療実習（浜田市国民健康保険診療所連合体、浜田医療センター、済生会江津総合病院、浜田保健所）（島根大学、鳥取大学から4名）

(3) 適正な医療

医療機関を科学的で、かつ、適正な医療を行う場にふさわしいものとするを目的に、病院に対しては「医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査要綱」に基づき年1回、有床診療所及び人工透析機設置診療所に対しては「診療所立入検査実施要綱」に基づき3年に1回の立入検査を実施している。また、平成15年度からは無床診療所（歯科診療所を含む）に対しては「無床診療所（歯科診療所を含む）立入検査実施要綱」に基づき5年に1回の立入検査を実施している。

表1 平成25年度実施状況（件）

病院	有床診療所	人工透析機設置診療所	無床診療所	歯科診療所
9	4	0	18	5

(4) 医療法の手続き

医療機関の開設・廃止・変更などの申請、届出について対応している。

表2 医療機関の設置状況 (単位：箇所、床)

区分		年度					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
病院	施設数	10	10	10	9	9	
	病床数	1483	1484	1443	1431	1431	
診療所	一般	施設数	97	99	101	100	96
		病床数	168	168	189	173	161
	歯科施設数	40	0	40	38	37	
助産所施設数		1	1	2	2	2	
施術所施設数		121	121	128	127	131	

病床数は全ての病床種別を含む

(5) 医療安全相談窓口

医療に関する相談を受け、相談者への情報提供等実施した。これらの相談内容は県でまとめ、医療機関等へ情報を提供し医療の質の向上を図っている。

平成25年度 相談件数10件

2 難病対策

特定疾患患者の医療費軽減を図るため、医療費の公費負担を行っている。

また、スモン患者に対する治療研究の助成や、先天性血液凝固因子障害等患者の医療負担の軽減を図るため、自己負担分について公費負担を行っている。

難病患者療養支援事業として、訪問相談・訪問指導・専門相談・患者家族教室・難病ボランティア養成講座・難病療養支援従事者研修等を実施した。

表3 難病相談、教室等の開催状況

区分		年度					
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
難病相談件数		20	14	12	9	11	11
交流教室等開催数		13	13	13	15	14	14

交流会 脊髄小脳変性症・多系統萎縮症…3回、パーキンソン病…4回、膠原病…1回
炎症性腸疾患…3回、網膜色素変性症…1回、圏域難病サロン…2回

患者会活動への支援

- ・むつみ会（脊髄小脳変性症・多系統萎縮症患者家族の会）総会、学習会と交流会、たよりを発送
- ・たんぼぼの会（パーキンソン病患者家族の会）総会、役員会、学習会と交流会たよりを会員に発送
- ・はなみずきの会（炎症性腸疾患患者家族会）総会、学習会、調理実習などを実施
- ・膠原病、網膜色素変性症の交流会を島根県支部患者会と協力し開催支援
- ・浜田圏域の難病サロンを、患者有志と難病ボランティアの協力によりH24年3月から開始。
平成25年度は、浜田圏域難病サロンとして年2回開催。「ほほえみサロン」と名称決定。

表4 特定疾患医療受給者証の交付状況

(単位：件)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
01ベーチェット病	5	6	4	4	4	6	6	6	8	11	9	9	7
02多発性硬化症	10	11	10	9	8	8	8	8	8	10	12	12	14
03重症筋無力症	17	18	18	20	18	21	25	25	26	26	26	26	25
04全身性エリテマトーデス	26	29	28	33	32	34	34	34	33	34	35	36	38
05スモン	5	6	6	6	6	3	3	3	3	2	2	3	3
06再生不良性貧血	9	13	13	14	15	12	11	9	9	9	9	10	9
07サルコイドーシス	14	14	11	11	11	10	11	12	13	13	13	16	15
08筋萎縮性側索硬化症	8	10	10	10	6	7	7	12	14	14	11	15	17
09強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	16	22	22	29	28	30	32	36	37	37	35	36	36
10特発性血小板減少性紫斑病	17	27	28	36	34	28	29	29	25	28	24	17	16
11結節性動脈周囲炎	2	2	3	4	2	2	2	1		2	2	4	5
12潰瘍性大腸炎	41	47	42	49	54	54	57	66	75	83	90	92	99
13大動脈炎症候群	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	3	5
14ビュルガー病	7	9	9	9	10	11	10	10	10	10	10	8	7
15天疱瘡	2	3	3	4	3	3	2	3	3	3	4	5	5
16脊髄小脳変性症	24	28	14	22	24	28	29	29	32	32	30	29	26
17クローン病	9	9	10	12	12	11	12	13	15	16	16	17	16
18難治性肝炎のうち劇症肝炎		1									0	0	
19悪性関節リウマチ	3	4	2	1	1	1	1				1	1	1
20パーキンソン病関連疾患	101	109	89	109	102	108	109	122	132	128	135	139	138
21アミロイドーシス	1	1	2	2	2	1	1	2	4	3	2	2	1
22後縦靭帯骨化症	11	14	15	13	13	16	15	13	17	21	22	19	18
23ハンチントン病								1	1		0	0	
24モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	4	4	4	4	3	5	5	4	5	4	6	6	8
25ウェゲナー肉芽腫症				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
26特発性拡張型(うっ血型)心筋症	9	9	11	16	10	11	10	11	10	11	11	10	11
27多系統萎縮症(シャイ・ドレーガー症候群等)	1	1	14	15	13	16	12	11	10	12	12	12	16
28表皮水疱症(接合部型、栄養障害型)				1							0	0	
29膿疱性乾癬	1	1	1	2	1	1	1	2	2	1	1	1	2
30広範脊柱管狭窄症	2	2	2	2	3	5	5	4	4	5	5	6	8
31原発性胆汁性肝硬変	2	3	4	5	5	8	9	9	13	19	22	29	32
32重症急性膵炎		6	3	1		1			1	4	1	0	1
33特発性大腿骨頭壊死症	15	15	12	14	14	15	12	14	16	21	19	18	17
34混合性結合組織病	8	7	9	11	14	13	11	11	12	13	12	15	14
35原発性免疫不全症候群			2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1
36特発性間質性肺炎					2	3	3	4	2	6	6	6	3
37網膜色素変性症	24	24	22	24	23	24	24	25	25	29	32	29	31
38プリオン病	1	3			1			1	1	1	1	0	1
39肺動脈性肺高血圧症	1	1	1	1							1	2	2
40神経線維腫症	1	2	2	1	1	2	2	3	3	4	4	6	4
41亜急性硬化性全脳炎											0	0	
42バッド・キアリ症候群						1					0	0	
43慢性血栓塞栓性肺高血圧症					1		1				0	1	1
44ライソゾーム病(ファブリー病を含む)											0	0	
45副腎白質ジストロフィー											0	0	
46家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)											0	0	
47脊髄性筋萎縮症											0	2	3
48球脊髄性筋萎縮症											0	0	
49慢性炎症性脱髄性多発神経炎										3	5	3	4
50肥大型心筋症											0	0	
51拘束型心筋症											0	0	
52ミトコンドリア病											0	0	
53リンパ脈管筋腫症(LAM)											1	1	1
54重症多形滲出性紅斑(急性期)											0	0	
55黄色靭帯骨化症										1	2	3	4
56間脳下垂体機能障害										14	17	19	20
計	401	465	431	501	482	506	506	539	575	636	652	670	686

3 結核対策

(1) 結核講習会 (平成26年2月14日)

内容：

- ・浜田保健所管内の結核発生状況
- ・講演「結核の診断・治療—最新の考え方」

独立行政法人国立病院機構 東広島医療センター 感染症診療部長 重藤えり子 先生
会場：浜田医療センター（総合研修センター）、参加者50名

(2) 学校結核健診

新しく策定された「学校における結核対策マニュアル」に従い、平成25年度から地域の実情に応じた結核対策を実施することとなった。

今後は、学校医による結核精密検査の受診勧奨が可能となるため、結核対策委員会は必要時に開催することとなった。

(3) 啓発活動

結核予防週間期間に医療機関・高齢者施設、市役所に啓発パンフレットを配布し結核に関する理解を深めていただくようにした。併せて、高齢者福祉施設には、結核出前講座のPRを行った。

結核出前講座は計10回(実9施設) 291名に対し、普段結核研修会に業務の関係上参加することの出来ないスタッフへわかりやすいパワーポイント教材を使用して実施し、概ね好評であった。

表5 年末の結核登録患者の推移

単位：人

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
活動性患者	12	11	9	12	9	12	17	15	14	12
感染性	4	7	7	7	3	4	7	5	5	7
非感染性	1	2	0	3	3	3	5	5	9	4
肺外結核	7	2	2	2	3	5	5	5	7	1
不活動性患者	27	31	30	33	35	28	25	30	20	25
潜在性結核感染症	0	0	0	2	3	5	5	18	28	26
不明者	0	0	1	1	1	5	2	2	5	4
合計	39	42	40	48	48	50	49	65	67	67

潜在性結核感染症は平成19年6月から無症状病原体保有者として届け出と登録が行われている。

表6 年齢別新規登録患者の状況 (平成25年)

	5歳未満	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	計
喀痰塗沫陽性肺結核					1		1			6	8
その他活動性肺結核						1				3	4
肺外結核										3	3
合計	0	0	0	0	1	1	1	0	0	12	15

※潜在性結核感染症を除く

表7 定期健診等の実施状況（平成25年度）

		定期					定期外		計	
		事業者	学校長	施設の長	市町村又は特別区の区長			患者 家族		その他
					乳 児		その他			
					6か月 未満	1歳未満				
ツベ ルク リン 反応	被注射者数 被判定者数 陰性者数 陽性者数							2 2 1 1	1 1 1 0	3 3 2 1
BCG接種者数										
間接撮影者数		3,530	839	561			4,424	0	0	9,354
直接撮影者数		1,795	236	260			0	24	44	2,359
かくたん検査者数		2	0	0			0	0	0	2
IGRA検査者数								25	59	84
被 発 見 者 数	結核患者	0	0	0			1	0	0	1
	潜在性結核感染症	0	0	0			0	1	1	2
	結核発病のおそれがあると診断された者	0	0	0			0	0	0	0

※施設の長：刑事施設を除く

※IGRA検査者欄を追加（H25年度から）

(4)DOTSの実施状況（平成25年）

結核患者の確実な治療の実施は結核対策の基本である。島根県では「島根県地域DOTS実施計画」に基づき、原則としてすべての結核患者に対して服薬確認、服薬サポートを実施している。25年度もこの方針に則って、入院患者以外の抗結核薬服用患者に対してもDOTSを実施した。

また、所内コホート検討会を行い、一例ずつDOTS実施状況を振り返った。

- ・DOTS訪問等の内訳（H25年新規結核患者15名 LTBI 3名）
 - ①週単位の訪問DOTS（訪問週1回以上） 0例
 - ②月単位の訪問（訪問月1～2回）DOTS 3例
 - ③訪問+電話確認（2か月に1回程度の訪問と電話確認） 10例
 - ④電話確認のみ 1例
- ・入院中 2例 ・死亡 2例 ・転出 0例

4 エイズ対策

エイズ予防対策の推進としては、①正しい知識の普及啓発、及び②無料検査による早期発見があげられる。25年度は、世界エイズデーキャンペーンとして県立大学でパネル展示やパンフレットの配布を行った。エイズ出張講座により小中高生への正しい知識の普及に取り組んだ。また、エイズ検査では陽性者1名あり、カウンセラー等への対応・陽性告知後の医療機関への連携等の課題がある。

表8 エイズ相談、検査の状況

区分 \ 年度	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
相談件数	54	26	38	34	45
検査件数	37	27	37	34	15

エイズ予防対策の推進としては、①正しい知識の普及啓発、及び②無料検査による早期発見があげられる。25年度は、世界エイズデーキャンペーンとして県立大学でパネル展示やパンフレットの配布を行った。また、エイズ出張講座により小中高生への正しい知識の普及に取り組んだ。

表9 エイズ出張講座の開催状況

種別	回数	人数
高等学校	3	55
中学校	11	571
小学校	3	162
計	17	788

- ・ 性感染症・エイズの正しい知識、感染予防について
小学生：「自分を大切に 友達を大切に」
中高生：「自分を生きる 心を生きる」
- ・ 実施時期 平成25年7月～平成26年2月

5 原爆被爆者対策

「原爆被爆者に対する援護に関する法律」に基づく健康診断の実施と、各種手当の申請手続の処理を行うとともに、浜田圏域の被爆者協議会へ情報提供を行った。

表10 管内被爆者数（平成26年3月31日現在）

	男	女	合計
浜田市	38	152	190
江津市	11	56	67
管内	49	208	257

表11 各種手当の支給状況

	保健手当		健康管理手当	介護手当	葬祭料	医療特別手当
	高額	一般				
支給件数	1	2	245	2	15	2

表12-1 被爆者健康診断の実施状況
定期健康診断(件数)

	前期	後期
一般健診	171	135
肝機能	161	122

表12-2 がん検診（件数）

胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん	多発性骨髄腫
6	40	22	13	38	35

6 緩和ケア

25年度は、在宅医療資源調査を実施し、分析・集計を行い、当所ホームページ上に公開した。緩和ケアネットワーク会議は開催なし。

7 骨髄バンク

25年度は、10月の骨髄バンク推進月間に管内の管内の高校・各種専門学校・大学へポスター配布の実施し、普及啓発を行った。

表13 骨髄提供希望者登録数の推移

(単位：人)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
骨髄提供登録者数	9	7	8	14	6	0	11	2

《衛生指導課》 《食品衛生機動監視課》

1 薬事対策（衛生指導課）

(1) 薬事監視指導の実施

医薬品にかかる薬剤師による管理及び情報提供等の重要性に対する認識の高まりを受け、薬局等における薬剤師による実地の管理状況の把握を重点に監視指導を実施した。
また、毒薬等の適正な保管管理等の徹底について指導した。

表1 薬事関係施設の設置、監視指導状況（平成26年3月31日現在）

(単位：箇所)

目業態	項	営業 施設数	新規 許可 施設数	廃止 届出 施設数	立入 検査 施設数	違反 発見 施設数	監視率 (%)
薬局		53	1	1	21	0	39.6
医薬品 販売業		39	3	3	5	0	12.8
	卸売	10	0	0	3	0	30.0
	薬種商	1	0	0	0	0	0.0
	店舗販売業	23	3	4	2	0	8.7
	特例	0	0	1	0	0	0.0
	配置	5	0	0	0	0	0.0
高度管理医療機器等販売・賃貸業		60	2	0	22	0	36.7
管理医療機器販売・賃貸業		152	2	1	8	0	5.3
計		304	8	5	56	0	18.4

(2) 医薬分業の推進

処方せん受け取り率（国民健康保険分）は、県全体、浜田圏域において平成24年度にかけて順調に増加した。

表2 処方せん受け取り率の推移

(単位：%)

年度 区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
浜田圏域	55.7	59.6	61.5	64.6	65.7
松江圏域	47.9	49.2	51.6	54.8	58.0
雲南圏域	46.1	51.6	56.8	60.8	62.6
出雲圏域	57.9	60.3	64.2	66.4	68.6
大田圏域	40.4	46.6	50.8	55.6	59.0
益田圏域	78.7	78.2	79.6	81.3	83.6
隠岐圏域	41.9	51.9	54.4	56.8	57.0
県全体	53.6	56.4	59.4	62.4	64.7

(3) 毒物・劇物監視の実施

農薬危害防止月間（6月1日～8月31日）を中心に、各登録施設に対し毒物・劇物の譲渡手続き、保管管理状況等について重点的に監視を行った。

表3 毒物劇物関係施設の設置、監視指導状況 (平成26年3月31日現在)

(単位：箇所)

業態	項目	営業施設数	新規許可施設数	廃止届出施設数	立入検査施設数	違反発見施設数	監視率(%)
一般販売業		58	2	3	25	0	43.1
農薬用品目販売業		18	1	1	2	0	11.1
特定品目販売業		2	0	0	0	0	0.0
計		78	3	4	27	0	34.6

2 薬物乱用防止対策 (衛生指導課)

「麻薬・覚せい剤乱用防止運動(10月～11月)」期間を中心に麻薬取扱い施設へ立ち入りし、麻薬の保管管理、帳簿等の記録について指導を実施した。

また、「6.26ヤング街頭キャンペーン」および小学校、中学校での講習会において薬物乱用を呼びかけた。

表4 麻薬取扱い施設の設置、監視指導状況 (平成26年3月31日現在)

(単位：箇所)

業態	項目	取扱施設数	新規許可施設数	廃止届出施設数	立入検査施設数	違反発見施設数	監視率(%)
麻薬小売業者		52	1	1	28	0	53.8
麻薬診療施設		52	0	1	20	0	38.5
	病院	9	0	0	11	0	122.2
	一般診療所	40	0	1	7	0	17.5
	歯科診療所	0	0	0	0	0	0.0
	飼育動物診療施設	3	0	0	2	0	66.7
麻薬卸売業者		3	0	0	4	0	133.3
麻薬研究者		1	0	0	1	0	100.0
計		108	1	2	53	0	49.1

3 献血の推進 (衛生指導課)

平成25年度の管内の献血目標は、400ml献血で1,620人であったが、実績は1,866人(115.2%)であった。

表5 献血状況 (平成26年3月31日現在)

(単位：人)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
200ml献血	—	—	—	—	—	—
400ml献血	1,636	1,746	1,783	1,620	1,611	1,866
成分献血	—	—	—	—	—	—
計	1,636	1,746	1,783	1,620	1,611	1,866

4 食品衛生対策 (衛生指導課) (食品衛生機動監視課)

(1) 食品衛生監視指導の状況

県の監視指導計画に基づき、計画的・効率的な監視指導を実施した。また、浅漬けを製造する漬物製造業者や食肉調理品を提供する飲食店については、緊急的に重点的な監視指導を行った。さらに、学校給食施設、飲食店等に対してはノロウイルス対策に関する啓発や指導を行った。

表6-1 食品営業施設に対する指導実績（許可施設；平成26年3月31日現在）

（単位：件）

		施設数	監視指導回数	行政処分
飲食店営業	一般食堂・レストラン等	555	226	1
	仕出し屋・弁当屋	142	133	1
	旅館	58	57	0
	その他	92	26	0
菓子製造業		112	55	0
乳処理業		1	2	0
特別牛乳さく取処理業		0	0	0
乳製品製造業		1	0	0
集乳業		0	0	0
魚介類販売業		184	83	0
魚介類せり売営業		3	0	0
魚肉ねり製品製造業		9	3	0
食品の冷凍又は冷蔵業		11	7	0
かん詰又はびん詰食品製造業		2	1	0
喫茶店営業		168	44	0
あん類製造業		1	1	0
アイスクリーム類製造業		15	8	0
乳類販売業		205	92	0
食肉処理業		11	4	0
食肉販売業		159	71	0
食肉製品製造業		1	2	0
乳酸菌飲料製造業		0	0	0
食用油脂製造業		1	0	0
マーガリン又はショートニング製造業		0	0	0
みそ製造業		14	5	0
醤油製造業		7	2	0
ソース類製造業		6	2	0
酒類製造業		5	2	0
豆腐製造業		10	7	0
納豆製造業		0	0	0
めん類製造業		5	4	0
そうざい製造業		62	50	0
添加物製造業		2	2	0
食品の放射線照射業		0	0	0
清涼飲料水製造業		10	10	1
氷雪製造業		6	1	0
氷雪販売業		0	0	0
計		1,858	900	3

表6-2 食品営業施設に対する指導実績（許可不要施設；平成26年3月31日現在）

（単位：件）

		施設数	監視指導回数	行政処分
給食施設	学 校	14	14	0
	病院・診療所	13	6	0
	事 業 所	8	6	0
	そ の 他	90	19	0
乳さく取業		6	0	0
食品製造業		158	37	0
野菜・果実販売業		167	74	0
そうざい販売業		191	58	0
菓子（パンを含む）販売業		192	74	0
食品販売業（上記以外）		397	90	0
添加物の製造業		0	0	0
添加物の販売業		34	7	0
氷雪採取業		0	0	0
器具・容器包装・おもちゃ製造又は販売業		23	8	0
計		1,293	393	0

(2) 食中毒の発生状況

平成25年7月にカンピロバクター、11月にサルモネラを原因とした食中毒が、いずれも飲食店において発生した。

表7 食中毒の発生事例（平成26年3月31日現在）

(単位：件)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
発生件数	1	1	4	1	2
患者数	14	26	434	33	16
サルモネラ	14	0	0	0	9
ノロウイルス	0	26	434	33	0
カンピロバクター	0	0	0	0	7
原因施設数	1	1	3	1	2

(3) 食品検査の状況

食品衛生法に基づく規格基準違反の発見や不良食品の排除など、食品の安全性を確保するため、管内で製造される食品を中心に収去検査を実施した。その結果、清涼飲料水の成分規格違反（フッ素）が判明した。また、各種衛生規範に基づく指導に資するための収去を行い、安全性の向上を図った。

表8-1 食品等収去検査の実施状況（乳及び乳製品以外の食品、添加物、おもちゃ；平成26年3月31日現在）

(単位：件)

	収去 検体数	不良 検体数	不良理由				
			大腸 菌群	異物	添加物 使用	法定外 添加物	その他
魚介類	1	0					
冷凍食品	無加熱摂取冷凍食品	0	0				
	冷凍直前に加熱された加熱後摂取冷凍品	0	0				
	冷凍直前未加熱の加熱後摂取冷凍品	0	0				
	生食用冷凍鮮魚介類	0	0				
魚介類加工品（缶詰、瓶詰を除く）	2	0					
肉卵類及びその加工品	5	0					
乳製品	4	0					
乳類加工品（アイスクリーム、マーガリン類を除く）	0	0					
アイスクリーム類・氷菓	1	0					
穀類及びその加工品	0	0					
野菜類・果物及びその加工品	41	0					
菓子類	21	0					
清涼飲料水	2	1	0	0	0	0	1
酒精飲料	0	0					
氷雪	0	0					
水	0	0					
缶詰・瓶詰食品	2	0					
その他食品	37	0					
添加物	化学的合成品及びその製剤	0	0				
	その他の添加物	0	0				
器具及び容器包装	0	0					
おもちゃ	0	0					
計	116	1	0	0	0	0	1

※フッ素の基準超過

表 8-2 乳及び乳製品（平成26年3月31日現在）

(単位：件)

	乳及び乳製品の成分規格の定めのある事項に関する検査								
	試験した収去検体数 (実数)	不良検体数 (実数)	不良理由（延数）						
			無脂乳固形分	乳脂肪	比重	酸度	細菌数	大腸菌群	抗菌性物質
生乳	0	0							
牛乳	5	0							
部分脱脂乳	0	0							
加工乳	乳脂肪分3%以上	0	0						
	乳脂肪分3%以下	0	0						
その他の乳	0	0							
計	5	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 普及啓発活動の推進

講習会の開催を通じて食品衛生への関心を高めた。具体的には、営業者に対して食中毒予防の啓発、食品表示の適正化、食品衛生に関する最近の話題等を内容にして開催した。また、食品衛生月間事業（8月）として、幼稚園児に対する手洗い指導を行った。

食品衛生推進員事業では、旅館、弁当調製施設等に対する食中毒発生防止のための点検及び食品表示の適正化を目的とした食品販売店の点検を実施した。

表 9 食品衛生講習会開催状況（平成26年3月31日現在）

(単位：回、人)

対象者	開催回数	参加者数
食品営業者	49	1,080
上記以外の者	16	1,900

表 10 食品衛生推進員による点検状況（平成26年3月31日現在）

(単位：箇所)

実施期間	対象業種	主な点検・助言内容	対象施設数
8月～12月	飲食店営業(一般食堂、旅館、仕出し・弁当屋)、製造業、食品販売店	施設の衛生管理、食品の表示	288

5 感染症対策（衛生指導課）

感染症発生時には、まん延防止を図るため迅速な患者の把握、原因究明等の疫学調査を行い、適切な医療が図られるように努めた。

また、管内の社会福祉施設等からの相談事例について、個別に助言や指導するなどまん延・再発防止対策の強化を支援した。

表 1 1 感染症の発生状況（全数把握疾患/平成26年3月31日現在）

（ ）の数字は発生件数

年度	一類	二類	三類	四類	五類
21	なし	結核 (24)	腸管出血性大腸菌感染症 (6)	なし	なし
22	なし	結核 (23)	腸管出血性大腸菌感染症 (3)	レジオネラ症 (1)	クロイツフェルト・ヤコブ病 (1)
23	なし	結核 (36)	なし	なし	アメーバ赤痢 (1)
24	なし	結核 (14)	腸管出血性大腸菌感染症 (1)	なし	なし
25	なし	結核 (18)	なし	A型肝炎 (1) 重症熱性血小板減少症候群 (1) レジオネラ症 (1)	アメーバ赤痢 (2)、破傷風 (1) クロイツフェルト・ヤコブ病 (1) 後天性免疫不全症候群 (1)

6 動物管理対策（衛生指導課）

近年、登録頭数の減少傾向が強まっている。また、登録数に係る狂犬病予防注射接種率（狂犬病予防注射頭数/登録頭数）が低下傾向が続いたが、平成25年度はやや上昇した。

所有者不明犬の引取りや犬捕獲は増加傾向があったが、平成25年度は少なくなった。また、飼い主からの犬の引取りについても減ってきている。猫については、所有者不明の引き取りが減少したが、飼い主からの引き取りは増加した。

収容した動物の積極的な譲渡などに取り組んだことにより、犬の殺処分数は過去最低となった。

表 1 2 狂犬病予防・動物愛護管理業務の状況

（単位：件、頭、回）

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
新規登録件数		407	401	423	349	267
登録頭数		5,685	5,589	5,415	5,166	4,977
狂犬病予防注射実施頭数		4,872	4,676	4,533	4,237	4,099
犬死亡届出件数		410	473	566	584	435
捕獲・引取頭数	捕獲	27	39	40	53	28
	所有者不明	27	22	24	29	18
	所有者からの引取	16	35	78	36	16
	負傷収容	1	0	1	2	1
	返還	21	22	20	28	24
猫	所有者不明	63	85	49	152	55
	所有者からの引取	78	46	56	54	92
	負傷収容	9	15	13	24	17
譲渡	犬	20	21	35	66	24
	猫	8	6	17	10	23
移処分・送	犬	28	54	85	27	17
	猫	134	144	97	221	139
咬傷被害件数		3	2	12	7	9
登録犬		3	2	11	6	9
飼犬(未登録)		0	0	0	0	0
その他		0	0	1	1	0
苦情処理等件数		112	104	117	155	145
犬のしつけ、愛護教室開催		2	2	2	2	3

表 1 3 動物取扱業者の登録状況（平成26年3月31日現在）

（単位：件）

保管	販売	展示	展示・保管	販売・保管	販売・展示	訓練・保管	合計
6	5	1	1	1	1	1	16

7 環境衛生対策（衛生指導グループ）

（1）環境衛生営業関係施設の衛生確保

施設数については、前年度から大幅な変動はなかったが、減少傾向である。
近年、監視指導について積極的に実施している。

表 1 4 環境衛生営業施設の設置、監視指導状況

（単位：箇所）

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
旅館	130	127	124	122	117	108
監視指導施設数	12	10	20	7	23	26
興業場	6	6	7	7	7	7
監視指導施設数	0	0	1	0	4	2
公衆浴場	33	34	35	34	33	29
監視指導施設数	1	2	5	8	30	6
理容所	142	142	141	139	137	136
監視指導施設数	0	2	0	1	1	2
美容所	205	205	206	207	209	213
監視指導施設数	2	0	4	0	12	7
クリーニング所	124	126	125	125	126	96
監視指導施設数	5	5	1	0	26	1
計	640	640	638	634	629	589

（2）水道施設の衛生確保

水道水の安全確保を図るため、施設や水質管理が適正に維持管理されるよう助言、指導を行うとともに、水道水質の異常、飲料水による健康被害等の発生時における危機管理体制の整備に努めた。

また、7月及び8月の豪雨災害時には、水道事業者に対し、被害状況及び対応状況について速やかに確認を行った。

表 1 5 水道施設の立入状況（平成26年3月31日現在）

（単位：件）

事業区分	浜田市			江津市		
	事業数	立入件数	水質検査異常報告件数	事業数	立入件数	水質検査異常報告件数
上水道	1	1	0	1	1	0
簡易水道	8	8	0	4	4	0
専用水道	※3	—	—	※4	—	—
その他	0	0	0	4	4	0
計	12	9	0	9	5	0

※平成25年3月31日に各市に権限移譲

(3) 温泉施設等の衛生確保

近年、施設数に大きな変動はないが、積極的に各施設への立ち入りを行っている。
平成25年度においても前年度並みに監視指導を行った。

表16 泉源・温泉利用施設の設置、指導状況

(単位：件)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
泉源	41	41	42	41	42	41
温泉利用施設	48	49	50	41	39	39
立入検査回数	1	7	9	9	29	29

表17 海水浴場、プールの設置、指導状況

(単位：件)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
海水浴場	7	7	7	7	7	7
立入検査回数	0	0	0	0	0	0
プール	民営	3	3	3	3	3
	立入検査回数	0	0	0	0	0
	公営	3	3	3	3	3
	立入検査回数	0	0	0	0	0
計	13	13	13	13	13	13

《環境保全課》

1 大気汚染防止対策

中国電力三隅火力発電所周辺における住民の健康保護と生活環境及び自然環境の保護のため、県、浜田市（旧三隅町）及び事業者の三者で「環境保全に関する協定書」を交わしている。

県は平成 10 年 6 月に設置した「三隅発電所周辺環境対策連絡協議会」において、中国電力が行った周辺環境調査結果を評価・公表し、浜田市を通じて地域住民への周知を図っている。当保健所はその協議会の事務局として各種調整を行った。

県では「島根県大気汚染常時監視テレメータシステム」により、一般環境大気測定局と自動車排ガス測定局等を設置し、大気環境の状況把握を行っており、当保健所管内では、一般環境大気測定局（2 地点）、自動車排ガス測定局（1 地点）において常時監視を行っているが、新たに平成 25 年 4 月 23 日より江津測定局においても微小粒子状物質（PM2.5）の監視を開始した。

常時監視の結果、光化学オキシダントについては春季に濃度上昇が見られたが、県大気汚染緊急時対策要綱に規定する注意報及び警報の発令には至らなかった。また、微小粒子状物質（PM2.5）については、国が示した「注意喚起のための暫定的な指針」に基づき「島根県微小粒子状物質（PM2.5）に係る注意喚起実施要領」を定めて濃度上昇時の対応を行ったが、注意喚起の実施には至らなかった。

微小粒子状物質（PM2.5）の成分分析を行うためのサンプリングを、浜田合庁において 2 回行った。

フッ素による大気汚染状況の把握のために、江津市 3 地点で毎月 1 回の調査を行った。

大気汚染防止法で規定される、平成 25 年度末のばい煙発生施設、粉じん発生施設の設置状況は、施設数として平成 24 年度末からばい煙発生施設は 1 施設減少し、粉じん発生施設は 7 施設減少した。

アスベスト（石綿）による健康被害の顕在化、社会問題化により、平成 18 年 2 月に大気汚染防止法等が改正され、全ての石綿除去作業が届出義務化された。特定粉じん（アスベスト）排出等作業実施の届出は 11 件あり適切に監視指導を行った。

表1 大気汚染の監視状況

区 分	測定地点	測定項目及び測定方法	回 数
一般環境大気 測定局	浜田合庁(1地点) 江津市役所(1地点)	二酸化硫黄(紫外線蛍光法) 窒素酸化物(化学発光法) オキシダント(紫外線吸光法) 浮遊粒子状物質(ベータ線吸収法) 微小粒子状物質(PM2.5)(ベータ線吸収法) 風向・風速、温度・湿度 【保守管理は外部委託】	自動監視
微小粒子状物質(PM2.5) 成分分析調査	浜田合庁(1地点)	イオン成分(イオンクロマトグラフ法) 無機元素成分(ICP-MS法) 炭素成分(TOR法)	年2回
大気汚染有害物質環境監視	江津市(3地点) ・県立江津高校 ・旧丸八裏 ・ポリテクカレッジ 島根	フッ素化合物(LTP法)	月1回
三隅発電所 周辺環境調査	浜田合庁(1地点) 浜田市三隅支所 (1地点)	浮遊粉じん 重金属類9物質(HVA法) 水銀(金アマルガム捕集法)	年2回 ・暖房期 ・非暖房期
酸性雨環境 影響調査 (降水監視調査)	江津市役所(1地点)	酸性雨自動採取装置による降水の採取 ・分析(保健環境科学研究所)	月2回

表2 ばい煙発生施設等の届出状況

(平成25年度末)

	施設数	事業場数	主な施設
ばい煙発生施設数	164	89	ボイラー、焼成炉、焼却炉
粉じん発生施設数	131	23	堆積場、破砕機、ベルトコンベア
県条例ばい煙特定施設	21	9	焼結炉、焼成炉

2 水質保全対策

水質環境基準監視を浜田川の4地点（三宮橋、清水橋、亀山橋、河口）で毎月行った。

海水浴場の遊泳適否調査を、波子、国府、田の浦、石見海浜公園、黒松の各海水浴場で2地点、浅利、折居海水浴場では1地点で行ったが、結果はいずれもAランク以上であり遊泳に適していた。

地下水は、浜田市で1地点、江津市で1地点の2地点で井戸水の調査を実施し、1地点において「ひ素」が地下水環境基準値を超過した。これを受けて、当該地下水環境基準を超過した井戸を含む周辺7地点で「ひ素」についての地下水追加調査を実施したところ、2地点において地下水環境基準値を超過したが、原因は自然由来と考えられ、飲用等による健康被害の発生はなかった。

ゴルフ場農薬等流出モニタリング調査を金城カントリークラブで実施した。

「水質汚濁防止法」及び島根県公害防止条例に規定する平成25年度末の特定事業場数は、平成24年度末から2施設減少した。

工場・事業場の排水対策については、水質汚濁防止法の規制対象事業場を中心とした立入検査等により、規制基準の遵守及び処理施設の適正な管理や届出に関する指導を行った。

車両からの油流出等の水質事故が11件発生した。

表3 公共用水域の水質環境基準等監視調査

水域名		指定類型	調査地点名	調査項目	調査回数
浜田川	上流	河川A A	三宮橋	生活環境項目, その他項目	12回
	下流	河川A	清水橋		12回
			亀山橋		12回
			河口	生活環境項目, その他項目	12回
江の川河口海域 ※	海域A	G-1,G-2,G-3 (表-深層)		生活環境項目, その他項目, 油分	6回
				健康項目(G-1)	2回: 6, 12月
浜田川河口海域 ※	海域A	H-1,H-2,H-3 (表-深層)		生活環境項目, その他項目, 油分	6回
				健康項目(H-1)	2回: 6, 12月
波子・国分・田の 浦海水浴場 ※	海域A	各2地点		生活環境項目, その他項目, 油分	6回
				健康項目(IW-1,IW-3,IW-5)	2回: 6, 12月

※河口海域・海水浴場海域の水質環境基準監視調査の採水、分析は外部委託

表4 海水浴場遊泳適否調査

区分	海水浴場名	地点数	調査時期・実施期間	調査回数	調査・分析項目
主要	波子(江津市)	2	遊泳期間前 (4月中旬～5月下旬)	2期間	気温,水温,波高,色相,臭気,透明度,油膜,pH,EC,COD,ふん便性大腸菌群数,病原性大腸菌O-157 (遊泳期間中1回のみ)
	国府(浜田市)	2		1期間2日	
	田の浦(浜田市)	2	遊泳期間中 (7月中旬～8月初旬)	1日2回(AM・PM)	
	石見海浜公園(浜田市)	2			
その他	黒松(江津市)	1	遊泳期間前 (4月中旬～5月下旬)	1期間	気温,水温,波高,色相,臭気,透明度,油膜,pH,EC,COD,ふん便性大腸菌群数
	浅利(江津市)	1		1期間2日	
	折居(浜田市)	1		1日2回(AM・PM)	

表5 管内の水質汚濁防止法に基づく特定施設数 (平成25年度末)

	浜田市	江津市	計
届出特定施設数	428	151	579
法排水基準対象施設数	(53)	(13)	(66)
特定施設立入検査数	37	10	47

3 土壌汚染対策

土壌汚染対策法(平成15年2月施行)の各種届出該当の事業場等に対し、法の適切な運用が行われるよう必要に応じて指導等を実施した。

4 ダイオキシン類対策

浜田合庁、江津市の大気測定局の2地点で、大気中のダイオキシン類測定を4回行ったが、いずれも環境基準を満足していた。

ダイオキシン類特別措置法に基づく平成25年度末の特定施設設置数は、大気基準適用施設、水質基準適用施設共に平成24年度末と同じであった。

特定施設に対しては3施設の立入検査を行い、1施設でダイオキシン類測定を行った。

表6 管内のダイオキシン類対策特別措置法に基づく特定施設数(平成25年度末)

	届出施設数	届出事業者数	立入検査数
大気基準適用施設	15	14	2
水質基準適用施設	2	2	1
計	17	16	3

5 廃棄物処理対策一般廃棄物関係

「廃棄物処理法」に規定する一般廃棄物処理施設は17施設あり、年度中の増減はなかった。

ごみの減量化・資源化及び再生利用に努めている、エコショップ及びゴールドエコショップ（エコショップ優良店）の認定店は、平成25年度末で24店舗あり増減はなかった。

平成25年度は管内の海岸に強酸性等の液体が入ったドラム缶やポリタンク等が漂着したため、関係機関と連携をとって、状況把握及び内容物の検査等支援を行い、12検体の分析を県保健環境科学研究所へ依頼した。

表7 管内の一般廃棄物処理施設数（平成25年度末）

し尿処理施設	2
コミュニティプラント	3
焼却施設	2
最終処分場	4
中間処理施設	4
不燃物処理施設	2
計	17

6 廃棄物処理対策産業廃棄物関係

「廃棄物処理法」に規定する平成25年度末の産業廃棄物処理業者は146業者であり、平成24年度末より8業者増となった。このうち、19業者に立入検査を行い、保管基準、処分基準等に関する指導を19件行った。

産業廃棄物処理施設は23施設あり年度中の増減はなかった。このうち、10施設に立入検査を行い、3施設に対して指導を行った。またミニ処分場が平成25年度末で2施設ある。

排出事業者への立入検査を26件行った。

表8 産業廃棄物処理業者数（平成25年度末）

産業廃棄物収集運搬業者	115
特別管理産業廃棄物収集運搬業者	6
産業廃棄物処分業者	24
特別管理産業廃棄物処分業者	1
計	146

表9 管内の産業廃棄物処理施設数（平成25年度末）

焼却施設	1	
破砕施設	18	
最終処分場	4	ミニ処分場※2施設
計	23	

※昭和52年以前に設置された安定型最終処分場もしくは平成9年以前に設置された面積3,000㎡未満の小規模な安定型処分場で設置許可対象外の施設

7 廃棄物の不法投棄等対策

平成17年度から配置された廃棄物監視専門員によるパトロール及び、管内に設置した監視カメラにより不法投棄防止を図った。

不法投棄防止の重点監視地域として江津市浅利町地内を指定し、地域住民2名を監視モニターに委嘱した。重点監視地域では6月と10月に合同パトロールを実施し、11月に(一社)島根県産業廃棄物協会が公益事業として不法投棄廃棄物の撤去を行った。

8 PCB廃棄物対策

「PCB特措法」に規定するPCB廃棄物保管等事業場は平成25年度末で43事業場となり、JESCOへの搬入処理等により30事業場減少した。

9 自動車リサイクル対策

「自動車リサイクル法」（使用済み自動車の再資源化等に関する法律）に関して事業者の登録数は、使用済み自動車の引取業者は平成25年度末48事業者で2事業者減となった。フロン類回収業者は平成25年度末5事業者で増減はなかった。解体業者の許可状況は、平成25年度末2事業者で増減はなかった。

使用済み自動車の引取業者、フロン類回収業者については3事業者に、解体業者は1事業者へ立入検査を行った。

10 浄化槽対策

「浄化槽法」に規定する浄化槽の設置基数は、平成25年度に119基増加した。

法定検査で不適正とされた浄化槽12基の立入検査を行ったが、9基について処理目標水質を超過しており、浄化槽管理者に対して維持管理等の指導

を行った。

浄化槽の適正な維持管理を推進するため、(公社)島根県浄化槽普及管理センターと(一社)島根県浄化槽協会の共催で浄化槽設置者講習会が開催され、浜田保健所から講師を派遣した。

島根県浄化槽保守点検業者の登録に関する条例に基づく、管内の保守点検業者は15業者であり、平成24年度末と同数であった。

表10 管内の浄化槽設置基数 (平成25年度末)

	浜田市	江津市	計
単独処理	7,869	3,426	11,295
合併処理	3,154	1,321	4,475
新設	(201)	(72)	(273)
合計	11,023	4,747	15,770

11 建築物衛生確保、衛生害虫対策

届出のある特定建築物は25施設であり、平成25年度に1施設増となった。

管内のビル管理業登録事業者は11業者であり、平成25年度に2業者減となった。

衛生害虫の相談がハチやマダニ等について8件あり、駆除方法の指導等対応を行った。

表11 管内の特定建築物 (平成25年度末)

施設の種類	興行場	百貨店	店舗	事務所	学校	旅館	その他	計
施設の数	4	4	2	5	2	3	5	25

表12 管内のビル管理業登録事業者数 (平成25年度末)

建築物飲料水貯水槽清掃業者	5
建築物環境衛生総合管理者	1
建築物ねずみこん虫等防除業	4
建築物清掃業	1

12 公害苦情処理

平成25年度は9件の苦情があり、浜田市や江津市他関係機関と連携した現地調査等によって、関係者に対しての指導及び助言を行った。

公害苦情は法規制のみでは解決が難しい問題が多いので、環境保全に関する理解と当事者相互の協力を求め、迅速な解決に努めた。

13 環境基本計画推進、普及啓発事業

住民、事業者、行政の各主体が連携して自主的かつ積極的に行動する環境保全活動を支援するため、環境情報コーナーを設けて情報の提供を行うとともに、環境学習用貸出機材を整備し、環境活動・学習に取り組む団体等を対象に貸し出しを行った。

《検査課》

検査課は浜田、県央、益田保健所管内の感染症対策、食品衛生対策、環境衛生及び環境保全対策に係る検査を実施している。

1 感染症に関する検査

2類感染症についての検査は0件でした。

3類感染症は腸管出血性大腸菌感染症(O26,O111,O157)について126検体（浜田保健所依頼分17検体、県央保健所依頼分109検体）の検査を実施し、また、パラチフスについては3検体（浜田保健所管内）の菌陰性化確認の検査を実施した（表1）。

HIV検査については40件実施した（表1）。

その他、ノロウイルスによる感染症関係で、浜田保健所と益田保健所依頼分の6検体について細菌検査を実施した。

表1 感染症に関する検査の実施状況

年度 区分		(件数)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
2類感染症(結核を除く)	培養	0	0	0	0	0
3類感染症	培養	22	31	10	9	129
H I V		34	27	37	40	40

2 食品衛生関係等の検査

食品の収去検査は浜田、県央、益田の3保健所管内から収去された食品136検体（浜田66検体、県央19検体、益田51検体）の細菌学検査を実施した(表2)。

食中毒発生時の検査は浜田保健所管内で発生した5事例と益田保健所管内2事例の拭き取り、食材、及び有症者等の検便の159検体について実施した(表4)。

なお、食品に関する苦情・衛生指導等に係る行政検査の対応はありませんでした(表5)。

表2 収去食品検査の実施状況

年度 区分		(件数)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
件数		148	123	80	105	136
細菌検査	一般細菌数	87	92	62	58	100
	大腸菌群	95	57	37	60	66
	サルモネラ属菌	7	0	0	0	0
	黄色ブドウ球菌	73	63	38	39	70
	腸管出血性大腸菌O157	6	0	0	0	0
	その他	68	45	28	69	88
	計	336	257	165	226	324

表3 平成25年度保健所別収去食品検査の実施状況

(件数)

		浜田保健所	県央保健所	益田保健所
		66	19	51
細菌検査	一般細菌数	53	8	39
	大腸菌群	29	9	28
	サルモネラ属菌	0	0	0
	黄色ブドウ球菌	35	7	28
	腸管出血性大腸菌O157	0	0	0
	E. coli	30	10	20
	乳酸菌	2	0	0
	恒温細菌	4	0	0
	クロストリジウム	0	0	0
	腸炎ビブリオ	10	3	9
	計	163	37	124

表4 食中毒(疑いを含む)検査の実施状況

(件数)

年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
検体数	43	60	133	51	159

※検査は、腸炎ビブリオ、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、病原性大腸菌、赤痢菌、コレラ菌、セレウス菌、カンピロバクター、ウェルシュ菌、エルシニア、エロモナス、プレシオモナス

表5 その他(食品に関する苦情・衛生指導等に係る行政検査等)

(件数)

年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
検体数	1	16	0	68	0

3 環境衛生関係検査

大気汚染関係の検査として、窯業所周辺の環境大気中フッ素化合物について 60 検体（浜田・県央保健所から依頼分）検査を実施した（表 5, 6）。水質検査は、公共用水域等の環境基準水質測定地点（浜田・益田・県央保健所管内）で採水された 265 検体（表 7）、事業場排水及び浄化槽放流水（浜田・益田・県央保健所から依頼）について 150 検体（表 8）、また、その他検体（苦情・事故等を含む）について 13 検体検査を実施した（表 5, 8）。

表 5 環境衛生関係調査(項目合計)の推移 (件数)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
大気汚染関係	60(60)	50(50)	65(65)	60(60)	60(60)
水質関係	1,980(448)	1,639(400)	1,764(392)	1,930(429)	1,828(415)
その他(苦情事故等含む)	60(34)	24(12)	24(12)	32(16)	29(13)

() 内は検体数

表 6 平成25年度 環境大気中フッ素化合物濃度調査の実施状況

	浜田保健所	県央保健所
検体数	36	24
項目数	36	24

表 7 平成25年度 公共用水域等水質検査の実施状況 (件数)

	合 計			浜田保健所			益田保健所			県央保健所			
	河川	地下水	海水浴場	河川	地下水	海水浴場	河川	地下水	海水浴場	河川	地下水	海水浴場	
総検体数	132	11	122	48	9	80	60	1	20	24	1	22	
一般項目	pH	132	11	122	48	9	80	60	1	20	24	1	22
	DO	123			48			51			24		
	BOD	122			48			50			24		
	COD			122			80			20			22
	SS	123			48			51			24		
	n-ヘキサン												
その他	大腸菌群	42			16			18			8		
	電気伝導度	132	11	122	48	9	80	60	1	20	24	1	22
	糞便性大腸菌			122			80			20			22
	病原性大腸菌			10		8			2				
合 計	674	22	498	256	18	328	290	2	82	128	2	88	

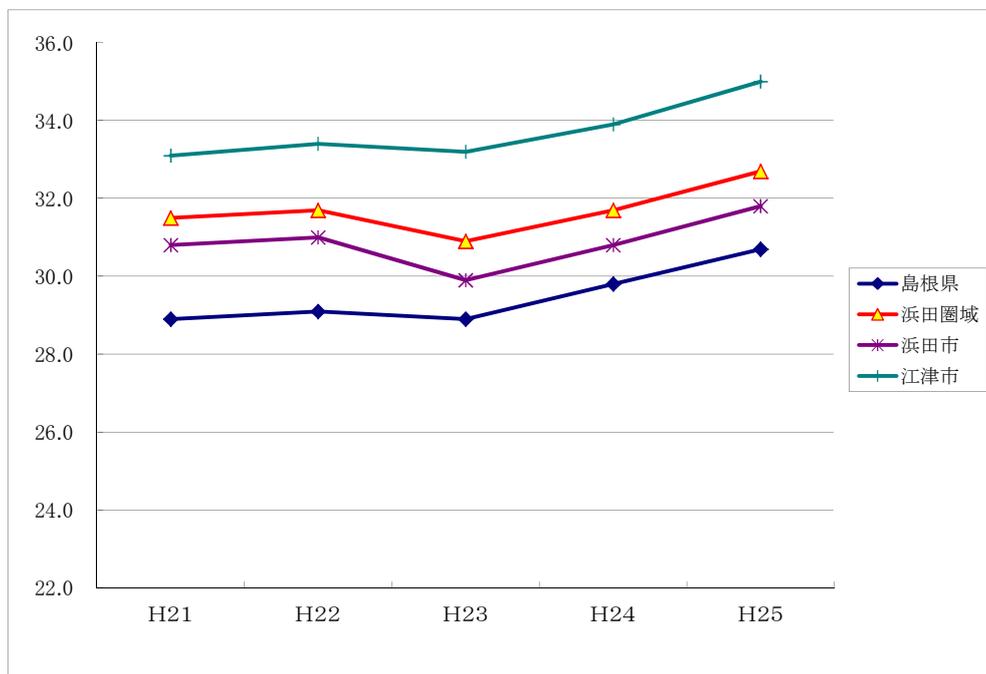
表8 平成25年度 事業場排水、浄化槽放流水及びその他の水質検査の実施状況 (件数)

		合 計			浜田保健所			益田保健所			県央保健所		
		事業場	浄化槽	その他	事業場	浄化槽	その他	事業場	浄化槽	その他	事業場	浄化槽	その他
総検体数		104	46	13	55	18	13	25	22		24	6	
一般項目	pH	104	46	13	55	18	13	25	22		24	6	
	DO												
	BOD	82	46	1	41	18	1	19	22		22	6	
	COD	10			7			1			2		
	SS	97		1	48		1	25			24		
	n-ヘキサン	28			15			5			8		
	大腸菌群	71		1	36		1	17			18		
その他	電気伝導度	104	46	13	55	18	13	25	22		24	6	
	糞便性大腸菌												
	病原性大腸菌												
	簡易検査												
合 計		496	138	29	257	54	29	117	66	0	122	18	0

資料編

◇浜田圏域の高齢化率と推計人口

◇高齢化率の推移



(単位: %)

区分		島根県	浜田圏域	浜田市	江津市
年	H21	28.9	31.5	30.8	33.1
	H22	29.1	31.7	31.0	33.4
	H23	28.9	30.9	29.9	33.2
	H24	29.8	31.7	30.8	33.9
	H25	30.7	32.7	31.8	35.0

◇H25. 10. 1現在の推計人口

区分		島根県	浜田圏域	浜田市	江津市
人口数	総人口	702,237	84,843	60,153	24,690
	15歳未満	89,090	9,682	6,873	2,809
	15～64歳	394,134	47,180	33,963	13,217
	65歳以上	215,385	27,785	19,141	8,644

※総人口については年齢不詳を加えている

区分		島根県	浜田圏域	浜田市	江津市
人口割合	15歳未満	12.7%	11.4%	11.4%	11.4%
	15～64歳	56.1%	55.6%	56.5%	53.5%
	65歳以上	30.7%	32.7%	31.8%	35.0%

※人口割合について分母となる総数は年齢不詳を加えている

◇浜田圏域の人口動態

◇人口動態の推移

		出生数		死亡数	(再掲)		自然増加数	死産数			周産期死亡数			婚姻件数	離婚件数
		(再掲)	2,500g未満		乳児(1歳未満)死亡数	新生児(生後28日未満)死亡数		総数	自然死産	人口死産	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡		
島根県	H21年	5,601	625	8,854	11	6	-3,253	144	66	78	26	24	2	3,220	1,127
	H22年	5,756	614	9,109	13	7	-3,353	143	67	76	23	17	6	3,283	1,110
	H23年	5,582	602	9,412	11	5	-3,830	136	51	85	13	9	4	3,058	1,043
	H24年	5,585	584	9,513	11	6	-3,928	138	57	81	19	14	5	3,114	1,014
	H25年	5,534	537	9,572	13	6	-4,038	131	54	77	20	16	4	2,992	1,045
浜田圏域	H21年	605	54	1,266	1	1	-661	19	8	11	3	3	-	348	122
	H22年	642	56	1,241	2	2	-599	11	5	6	2	1	1	366	145
	H23年	609	73	1,294	3	1	-685	11	6	5	1	-	1	338	134
	H24年	593	81	1,240	1	1	-647	17	7	10	2	1	1	368	150
	H25年	591	66	1,304	1	-	-713	11	4	7	-	-	-	317	131
浜田市	H21年	445	35	837	1	1	-392	14	6	8	2	2	-	249	83
	H22年	465	38	802	1	1	-337	10	5	5	2	1	1	271	98
	H23年	449	56	880	2	1	-431	7	4	3	1	-	1	256	91
	H24年	429	62	792	-	-	-363	14	5	9	-	-	-	262	102
	H25年	421	51	900	1	-	-479	9	3	6	-	-	-	225	82
江津市	H21年	160	19	429	-	-	-269	5	2	3	1	1	-	99	39
	H22年	177	18	439	1	1	-262	1	-	1	-	-	-	95	47
	H23年	160	17	414	1	-	-254	4	2	2	-	-	-	82	43
	H24年	164	19	448	1	1	-284	3	2	1	2	1	1	106	48
	H25年	170	15	404	-	-	-234	2	1	1	-	-	-	92	49